

# 柏市健康増進計画

## 平成29年度 進捗状況報告書

平成30年8月  
柏市

# 目次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	9
3	休養・こころの健康	17
4	喫煙	22
5	飲酒	27
6	歯・口腔の健康	30
7	糖尿病	38
8	循環器疾患	42
9	がん	46

表の見方	【事業名】	* : 事業名, 事業概要, 指標が全て再掲であるもの
		※ : 事業名は再掲だが, 事業概要または指標が異なっているもの
	【ライフステージ】	○ : 該当
		△ : 一部該当

1. 栄養・食生活

(1)適正体重を維持するための知識の普及																		
①成人女性のやせ(20歳代)[BMI 18.5未満]及び成人男性の肥満[BMI 25.0以上]の減少																		
②児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少																		
③体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増進課	給食施設指導事業	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)	他課 (学校保健課・保育運営課) 柏市保健所管内集団給食研究会	・肥満及びやせの割合の減少 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数					平成29年度より各施設における肥満及びやせの割合を把握している。平成29年度と平成26年度の結果を比較し、国基準の+5%以上の施設に対し、改善に向けての計画を立て実施できるよう指導・助言した。 ・3年分のデータを活用してクロス集計し、多方面から改善策を検討する。 ・喫食者への直接的な指導が難しい施設で活用できる媒体を作成し、個別指導を行うきっかけづくりの支援を引き続き行う。	・各施設の割合変動を確認し、増加傾向にある施設や、該当割合が多い施設における改善対策の指導・助言を継続して行う。 ・新たな改善案を検討し、積極的に取り組んでいく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											34件	22件	35件	29件	33件			
											「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準:、H26年度比+5%以上)							
											—	—	1.0%	1.0%	2.8%			
											「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準:、H26年度比+5%以上)							
											—	—	1.0%	1.0%	0.9%			
											「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)							
—	—	47.0%	41.0%	48.1%														
「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)																		
—	—	39.0%	37.0%	39.8%														
学校教育 部 学校保健課	学校給食提供事業 (小学校)	給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養分を習得する。 また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少	○						給食実施回数(平均)					定期健康診断において肥満度+20%以上の割合を減らすことができた。 平成30年度においても、給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や成長に必要な栄養素について指導していく。 学校栄養職員・栄養教諭と養護教諭とが連携し、健康な生活習慣を習得するための食育の授業を行う。 平成28年度より、「やせに該当するものの割合」を指標として追加する。	歯科医と連携して実施する「よく噛んで食べるとよいこと」の授業は効果的であり、多くの学校でも実践できるように、指導案の公開や授業公開をし、多くの学校で積極的に実施するよう働きかける。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											185回	185回	185回	185回	185回			
											対象者数							
											21,430人	21,448人	21,525人	21,690人	21,917人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の人数							
											1,432人	1,430人	1,396人	1,506人	1,515人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の割合							
											6.7%	6.7%	6.5%	6.9%	6.9%			
											やせ【標準体重の-20%以上】の人数							
											258人	347人	262人	284人	304人			
											やせ【標準体重の-20%以上】の割合							
1.2%	1.6%	1.2%	1.3%	1.4%														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス										
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期														
学校教育 部 学校保 健課	学校給食提 供事業 (中学校)	給食を生きた教材とし て、生徒を対象に適切な 摂取量の体得、成長に必 要な栄養分を習得する。  また、養護教諭と連携 し、咀嚼の重要性や栄養 バランスの取れた食事、 栄養と運動の両面を意 識することで、健康な生 活習慣を習得するための 食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断 における肥満 【標準体重の+ 20%以上】の人 数の減少									△ (中学生のみ)	給食実施回数(平均)  H25 H26 H27 H28 H29 180回 180回 180回 180回 180回  対象者数 9,886人 9,909人 9,936人 9,939人 9,852人 肥満【標準体重の+20%以上】の人数 746人 778人 704人 719人 714人 肥満【標準体重の+20%以上】の割合 7.5% 7.9% 7.1% 7.2% 7.2% やせ【標準体重の-20%以上】の人数 251人 295人 247人 231人 251人 やせ【標準体重の-20%以上】の割合 2.5% 3.0% 2.5% 2.3% 2.5%	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて  定期健康診断において肥満度+2 0%以上の割合を減らすことがで きた。  平成30年度においても、給食を生 きた教材として、児童を対象に適切 な摂取量や成長に必要な栄養素に ついて指導していく。  学校栄養職員・栄養教諭と養護教 諭とが連携し、健康な生活習慣を習 得するための食育の授業を行う。  平成28年度より、「やせに該当する ものの割合」を指標として追加する。	肥満の割合が増える 傾向にある時期で、ダ イエットへの意識も高 まってくる。痩身も含 め、適正な体重管理 ができる正しい知識を 指導していく。								
					推進委員会実施回数						H25	H26						H27	H28	H29	フレイル予防に係る事業や活動に ついては、見える化するなど共有を 図ることは出来たが、関係者全体が 連動する動きには至らず課題となっ た。 平成30年度は、地域としての評価に 着手する「フレイルチェックの充実と 地域活動との連動」と市域全体で広 く認識してもらう「フレイル予防の効 果的な啓発活動」を特に強調して取 り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック：地域サロン、居場 所等でのフレイルチェック、講座を地 域包括支援センターを軸に市内全 域で展開。 効果的な啓発活動：周知・広報の予 算(200万円)を活用して横断幕、フ ラッグの掲示やコンテンツ作りを実 施(福祉政策課、地域包括支援課、 健康増進課、企画調整課がコアメン バー)及び健康づくり市内連絡会議 を利用し、前述の啓発活動の共有 及び活動の仕掛け、実装に向けた 支援に取り組む。			
保健福 祉部 福祉政 策課 地域包 括支援 課	柏フレイル予 防プロジェク ト2025	「フレイル(虚弱)」という 概念を新たに取り入れ、 市民、関係団体、学識経 験者、市による「推進委 員会」を設置・運営なが ら、健康づくり事業の効 果的な連動と地域を基盤 とした市民主体の活動を 推進	医師会、歯科医 師会、薬剤師 会、東京大学、 ふるさと協議 会、社会福祉協 議会、民生委員 児童委員、柏市 民健康づくり推 進員、スポーツ 推進委員、東葛 北部栄養士会、 リハビリテーショ ン連絡会、地域 包括支援センタ ーなど	市民の意識・行 動変容(栄養、 身体活動、社会 参加の促進)									○ ○ ○	-	-	1回	3回	3回	フレイル予防に係る事業や活動に ついては、見える化するなど共有を 図ることは出来たが、関係者全体が 連動する動きには至らず課題となっ た。 平成30年度は、地域としての評価に 着手する「フレイルチェックの充実と 地域活動との連動」と市域全体で広 く認識してもらう「フレイル予防の効 果的な啓発活動」を特に強調して取 り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック：地域サロン、居場 所等でのフレイルチェック、講座を地 域包括支援センターを軸に市内全 域で展開。 効果的な啓発活動：周知・広報の予 算(200万円)を活用して横断幕、フ ラッグの掲示やコンテンツ作りを実 施(福祉政策課、地域包括支援課、 健康増進課、企画調整課がコアメン バー)及び健康づくり市内連絡会議 を利用し、前述の啓発活動の共有 及び活動の仕掛け、実装に向けた 支援に取り組む。	フレイル予防の普及・ 啓発と効果的な促 進、地域における市 民主体の活動の促 進、フレイル予防に 係る関係機関の連 携・連動を推し進 めフレイル予防に よるまちづくりの 実現を目指してい く。				
					推進委員会実施回数						H25	H26									H27		H28	H29

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス							
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29										
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて、管理栄養士等が講座を行う。	東葛北部在宅栄養士会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養の改善)						○	○	フレイル予防講座(栄養)の参加者数					平成29年度は介護予防センターのあり方について検討を行い、講座参加者の自主化支援を行っていくこととした。 平成30年度は、地域団体と連携した講座展開を図り、自主化を進める。	自主化支援を進めていく。							
															H25	H26				H27	H28	H29			
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険 特定保健指導	特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	・柏市医師会 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会	生活習慣病の発症及び重症化の予防							○	○	特定保健指導実施率					通知や電話で特定保健指導の利用勧奨を行ったこと、初回支援開始期間を平成28年度の対象者から延長したことにより実施率は向上した。また質の高い「特定健診・特定保健指導」の実施のため、健診実施医療機関及び特定保健指導の指導担当者を対象に腎臓病専門医による研修会を実施した。 平成30年度も引き続き、生活習慣病の早期発見と重症化予防のため、健診結果やレセプト等の健康・医療情報に基づき策定している「第2期データヘルス計画」に基づき、特定保健指導実施率の向上に向けた取り組みを継続実施する。併せて「糖尿病性腎症重症化予防事業」や「柏市CKD医療連携システム」、「健康講座」等、かかりつけ医と専門医等と連携した生活習慣病予防対策につながる特定保健指導を実施していく。	「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」や国が示す「第3期特定健診・特定保健指導」に基づき、特定保健指導の支援期間見直し(6か月経過後から3か月経過後実績評価)等、保健指導実施率の向上に向けた取り組みを推進していく。 さらに医療機関や衛生部門等、関係部署との連携による生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みにつなげていく。						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス									
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
～H28 保健所 成人健 診課  H29～市 民生活 部 保険年 金課	健康づくり相 談	健康診査の結果により、 生活習慣改善の必要な かたに、保健師・管理栄 養士が個別相談を行い、 個人の生活に即した具 体的なアドバイスを行う。		健康診査の結果により、生活 習慣改善の必要なかたに、保 健師・管理栄養士が個別相談を 行い、個人の生活に即した具 体的なアドバイスを行う				○	○	○	相談者数					平成29年度から保険年金課で特定 健診の結果、保健指導に該当しな い方や75歳以上の健診、18歳から 39歳までの健康診査の受診後の 事後フォローとして実施している。 平成30年度も引き続き、健診結果 等を元に、対象者の相談内容に即 してアドバイスを行うことで、生活習 慣の改善を図り、生活習慣病の予 防と重症化予防の取り組みを推進 していく。	「第2期データヘルス 計画」に基づき、生活 習慣病対策として、衛 生部門や介護部門 等、関係部署との連 携体制の構築を検 討、実施していく。						
											H25	H26	H27	H28	H29				132人	88人	115人	98人	35人
保健所 健康増 進課	へるすアップ 相談	●平成29年度より実施 柏市健康診査、骨粗し ょう症検査の結果、生活習 慣改善の必要なかたに、 保健師・管理栄養士が個 別相談を行い、個人の生 活に即した具体的なアド バイスを行う。		健診結果を踏ま えて自らの生活 習慣を振り返り、主体的に健 康づくりに取り 組むことができ る				○	○	○	相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)					骨粗しょう症検査にて予防域となっ た方1172名のうち、125名(利用率 10.70%)、柏市健康診査にてB判定 (生活習慣の改善が必要)となっ た方51名のうち、8名(利用率15.7%)が 相談を利用。勧奨通知の送付によ り、予定枠を超えた申し込みがあっ たことから、相談枠を増設し対応 した。平成30年度においても、申し込 み状況を踏まえ、相談枠の増加や 会場を検討し、利用率の向上に取り 組む。	引き続き対象者が利 用しやすい相談体制 を整えるとともに、40 ～50代の対象者への アプローチの方法を 検討する。						

(2)野菜の摂取量の増加

④野菜摂取量の増加の割合(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																							
保健所 健康増進課	給食施設指導事業 (※)	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)	他課 (学校保健課・保育運営課)  柏市保健所管内集団給食研究会	・給食施設の食品構成における野菜摂取量の増加 ・野菜料理の残渣量の減少 ・ヘルシーメニューの提供増加 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数					・集団指導として、給食施設従事者研修会において、栄養管理について説明し、適切な野菜摂取量を確保できる献立とするよう、指導・助言していく。 ・個別巡回において、食品構成や野菜摂取量についての聞き取りに力を入れ、必要に応じて助言していく。	・個別巡回で聞き取りをした野菜摂取量について考察し、新たな改善案や啓発案を検討する。																
											H25	H26	H27	H28	H29				34件	22件	35件	29件	33件										
保健所 地域保健課	啓発事業	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課  柏市民健康づくり推進員  各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					柏市の各地域における推進員の協力を得ることにより、一定の周知・啓発活動を展開することができた。平成30年度も、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。																
											H25	H26	H27	H28	H29				-	6,109人	5,235人	4,869人	3,979人										
											啓発実施者数(栄養・食生活)								H25	H26	H27	H28	H29	-	1,681人	365人	1,076人	290人					
											啓発実施者数(全数)								H25	H26	H27	H28	H29	-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人					
保健所 健康増進課	啓発事業	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課  各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					バランスのよい食生活や食育レシピ、減塩に関するリーフレットを作成し、伝えたいことを絞り、啓発を実施。平成30年度は、野菜を中心に引き続きバランスのよい食生活や減塩等についても啓発を行っていきたい。	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。																
											H25	H26	H27	H28	H29				-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人										
											※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲								啓発実施者数(栄養・食生活)					H25	H26	H27	H28	H29	-	1,681人	365人	1,076人	918人
											※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲								啓発実施者数(全数)					H25	H26	H27	H28	H29	-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 健康増 進課	栄養改善事 業	平成29年度新規事業 ①「野菜を食べよう柏協 力店」事業  ②「柏シェフSキッチン」 事業	①柏市保健所 管内調理師会 庁内関係各課  ②柏市保健所 管内調理師会 市内の大学 庁内関係各課	①野菜を食べる ことのできる食 の環境整備とす る。  ②主に20歳 代、30歳代の 若い世代に周知 をし、食に関心 を持たせる場と すること。また、 友達づくりの場 とする。	△	△	△	○	△	△	①登録店舗数／②参加者数					①協力店の登録条件を29年度途 中に見直し、登録店舗は8店舗とな った。30年度は、調理師会理事会や 食品衛生講習会で本事業の周知を 行い、登録店舗数の増加を図る。環 境整備と併せて、市民への野菜摂 取についての啓発を行う。  ②29年度に調理実習を2回する予 定だったが、1回目の参加者が少な かったこと、費用対効果等、事業全 体の見直しが必要となり、2回目は 未実施。事業終了とした。	①市民の野菜摂取量 増加を目指し、環境 整備と共に、市民へ の啓発を他の事業と も関連させて実施し ていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
経済産 業部 農政課	食の安全・安 心対策推進 事業	市職員が農産物をサン プリングし、放射性物質 検査を行う。また、検査結 果についてホームページ や広報などを通じて公表 。	①千葉県 ②一般財団法 人 千葉県環境 財団	食の安全・安心 を確保する。				○	○		検査品目数・検体数					消費者の不安を取り除き、安心して地 元の農産物を購入できるよう継続的に 検査を実施していく。また、検査の頻度 等に関しては、放射性物質による影響 範囲を見極めながら、費用と効果のバ ランスを配慮しながら実施していく。	検査や生産者への助 言等を通じて、引き続 き食の安全安心を確 保していく。また適 宜、情報を発信するこ とで、風評被害の防 止に取り組んでいく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			



(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及																		
⑤朝食の欠食率の減少																		
⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期				
保健福祉部 地域包括支援課	栄養改善事業	国が定めた「2次予防事業対象者把握事業」により選定された「低栄養ハイリスク者」の中から、栄養個別相談の希望者に対して、在宅に訪問し、食生活のアセスメントから、栄養指導・栄養相談・調理実習の実践を経て(6回訪問)、適正体重を保ち、要介護状態の予防を図るもの	①東葛地区在宅栄養士会 ②包括支援センター	低栄養の改善						○	栄養改善事業参加状況							
											H24	H25	H26	H27	H28			
											対象者数							
											232人	269人	349人	廃止	—			
参加者数																		
6人	9人	7人	廃止	—														
保健所 地域保健課	母子保健食育	<p>&lt;ママパパ学級・ママパパッキング&gt; 妊娠期の食生活支援</p> <p>&lt;離乳食教室&gt; 離乳食のすすめ方</p> <p>&lt;母と子のつどい・歯ピカ・幼児健診&gt; 栄養講話と個別相談</p>		「バランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させるため、母子保健サービスを活用し、健康づくりの意識づけをする。						○	3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた朝食の率					朝食の内容をみると、主食・主菜・副菜をそろえた割合は微増している。妊娠期から幼児期の食への関心が高まる時期に、各事業を通じて家族の健康づくりのためのバランスの良い食事について啓発を行い意識付けができた。引き続き、切れ目ない支援を実施していく。	引き続き、各事業を通じてバランスのとれた食事について啓発をしていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											—	28.0%	22.8%	23.6%	24.8%			
											△							
保健所 健康増進課	栄養改善事業 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討)</li> <li>・健康ちば協力店登録推進(健康づくりの取り組みを実施する飲食店の登録)</li> <li>・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成)</li> <li>・講演会の企画(食育推進研修会、給食施設従事者研修会、千葉県調理師講習会講師)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市保健所管内調理師会</li> <li>・柏市保健所管内集団給食研究会</li> <li>・柏市医師会</li> </ul>	関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加						△	研修会実施回数					<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士業務連絡会では、市民の健康増進を目的に各部署の栄養士が課題を共有して事業に取り組めるよう情報交換を行った。また、栄養士の人材育成のガイドとなる「柏市行政栄養士業務関係資料」を作成した。30年度は行政栄養士としての資質向上を目的に研修会を開催する予定。</li> <li>・改定された食生活指針、給食施設での適正な栄養管理等をテーマに関係団体と共催で研修会を実施した。30年度も食に関する研修会を企画・実施する予定。</li> </ul>	栄養士だけでなく、食に関わる他職種、関係団体と連携し、バランスの良さを意識した食事が摂れる市民を増やす。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											3回	3回	3回	3回	3回			
											△							

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
こども部 保育運 営課	クッキング保 育	園児が種まきをする前 に、豊作を願い集会を開 き、栽培～収穫への意欲 を育てる。保育園の園児 が、作物を栽培し、育て た作物と同じ野菜を利用 し、5歳児がクッキングを 行い食べる。	各公立保育園 の保育士、調理 員と保育運営課 栄養士との連携 ※一部の保育 園では、地域住 民との連携有り 。	自分たちで育て たものを、友達 と一緒に調理 し、食べる喜び を味わうことで、 食に関心を持つ 。	○						クッキング保育実施園数					園児が自分たちで栽培収穫した野 菜と同じ種類の野菜を使用すること で、栽培から調理までを関連付けて 取り組むことができた。また、苦手な 野菜など、調理方法によって食べら れることに気が付き、バランスのよ い食生活に向けた、きっかけ作りが できた。クッキング保育の実施後は 家庭でも料理をつくるなど、食への 興味が広がった。 園児が日々の給食においても、より 関心もてるよう調理員との交流 や、また、家庭での会話や知識の普 及につながるよう食育を進めていく 。また、給食日よりレシピを紹介し 保護者へ情報発信をしていく。	園児へ食育を通して、 家庭での会話や知識 の普及により、バラ ンスの良い食事につな がるようなクッキング 保育を継続していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学 習部 中央公 民館	成人教育事 業 「食育講座」	食に関する課題を踏ま え、講義や調理実習など をとおして、食に関する 知識や関心を高める。	—	豊かで健全な食 生活を実践でき る							講座実施状況					場の働きと食生活の大切さを学ぶ 講座を実施した。 平成30年度も内容を充実させて実 施していく。	中央公民館の休館を 予定しているため、実 施については、未確 定である。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											実施回数							
											2回	2回	2回	2回	1回			
参加者数																		
42人	59人	26人	24人	27人														
学校教 育部 学校保 健課こ ども部 保育運 営課 保健所 地域保 健課	子ども健康 プロジェクト	子ども健康プロジェクトの 一環として、柏市の学校 給食のメニューを学校給 食クックパッドに掲載。 パソコンや携帯からも アクセスして、レシピを確 認することができ、バリエ ーションに富んだ給食メ ニューを家庭で作ること ができる。	学校保健課、保 育運営課、地域 保健課の栄養 士が連携し掲載 。	簡単にバリエ ーションに富んだ 人気のある給食 メニューを周知 することで、調 理をする意欲を 高める。	○	○	○	○	○	○	年間レシピの閲覧数(年度)と月平均閲覧数					平成27年1月から毎月2レシピ程度 掲載。 平成29年度からは、保育園給食及 び離乳食を掲載し、より若い世代が 活用しやすい内容として取り組む。	継続し、関係各課連 携のもと取り組んでい く。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	-	-	年間閲覧 数 395,550件 月平均 32,962件	年間閲覧 数 231,996件 月平均 19,333件			

2. 身体活動・運動

(1)運動習慣の定着																			
①運動習慣者の割合の増加																			
②20～59歳のほとんど運動していない人の割合の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29				
地域づくり推進部 秘書課	各種スポーツ教室の開催	<p>&lt;JR野球教室&gt; 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手達をコーチに招き開催</p> <p>&lt;バスケットボール教室&gt; 市内ミニバスケットボールチームに所属している小学生を対象にJX-ENEOSサンフラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ティーボール教室&gt; 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ランニングクリニック&gt; 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	<p>JR東日本野球部</p> <p>JX-ENEOSサンフラワーズ</p> <p>YBC柏</p> <p>積水化学女子陸上競技部</p>	<p>市のスポーツを活かしたまちづくりの推進</p> <p>参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること</p>								各スポーツ教室参加者合計					幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツに触れる機会を提供した。平成30年度も引き続きホームタウンチームと連携し、各種スポーツ教室を開催する。	ホームタウンチームと連携した事業を展開することで、市民が柏市への愛着を深めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けスポーツへの関心や参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。	
											861人	※ランニングクリニック未実施 689人	885人	※バスケットボール教室未実施 597人	※ランニングクリニックはスポーツ課が実施 437人				
保健福祉部 障害福祉就労支援センター	介護予防事業(運動でからだ元氣塾)	要介護状態に陥る可能性のある高齢者に対し、専門職が、個々の身体機能に応じた運動内容を助言し、実践する。	地域包括支援センター	週に1回、6ヶ月間にわたり運動を行うことで、自身に必要な運動方法を理解し、運動習慣の定着が図れる。								事業効果のあった参加者割合					二次予防事業から一次予防事業として広く普及啓発するため、平成26年度をもって廃止。平成27年度からロコモフィットかしわ事業に移行した。		
															88.4%	73.1%			
保健福祉部 地域包括支援課 市民生活部 保険年金課	フレイル予防事業(ロコモフィットかしわ)	市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する座学と運動指導を行う。  (40～64歳の国保被保険者も含む)	柏市在宅リハビリテーション連絡会、東京大学高齢社会総合研究機構、地域包括支援センターなど	市民が主体的にロコモ予防に取り組むことで、生活習慣病予防、介護予防を推進する。								ロコモフィットかしわ参加者数					ロコモフィットかしわ参加者の増加を図ると共に、参加者の自主活動化を進めている。平成29年度に製作した「かしわロコレ！」体操の活用により、さらなる自主活動の拡大を図る。	ロコモフィットかしわはフレイル予防の一環であることが市民に伝わりやすいため、仕様書を見直し、プログラムの中にフレイルチェックのCanチェックを導入する等の取り組みを行う。	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28				H29			
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)				○	○	○	推進委員会実施回数					フレイル予防に係る事業や活動については、見える化するなど共有を図ることは出来たが、関係者全体が運動する動きには至らず課題となった。 平成30年度は、地域としての評価に着手する「フレイルチェックの充実と地域活動との連動」と市域全体で広く認識してもらう「フレイル予防の効果的な啓発活動」を特に強調して取り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック：地域サロン、居場所等でのフレイルチェック、講座を地域包括支援センターを軸に市内全域で展開。 効果的な啓発活動：周知・広報の予算(200万円)を活用して横断幕、フラッグの掲示やコンテンツ作りを実施(福祉政策課、地域包括支援課、健康増進課、企画調整課がコアメンバー)及び健康づくり庁内連絡会議を利用し、前述の啓発活動の共有及び活動の仕掛け、実装に向けた支援に取り組む。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推進し、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指すしていく。				
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護)予防事業のうち、身体活動をテーマとしたプログラムについて、リハビリテーション専門職、運動トレーナー等が講座を開催する。	柏市在宅リハビリテーション連絡会、柏市社会福祉協議会、柏市地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(身体活動の促進)				○	○		フレイル予防講座(運動)の参加者数					平成29年度は介護予防センターのあり方について検討を行い、講座参加者の自主化支援を行っていくこととした。 平成30年度は、地域団体と連携した講座展開を図り、自主化を進める。	自主化支援を進めていく。				
										介護予防センター主催の教室											
										フレイル予防出前講座											
					地域包括支援センター主催の教室																

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所健康増進課	地域ウォーク	<p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p>	<p>市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市</p>	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>	△	○	○	○	○	△	実施状況					<p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; 昨年度に引き続き、早朝から荒天のため参加者が少ない状況が続いている。天候に左右されやすい屋外のイベントであるため、今後の実施等に向けては我孫子市を含めた関係団体と検討をしていく。平成30年度については例年より周知の時期を早め、多くの参加を募る予定。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 平成29年度より内容を改訂し、配布方法も変更した結果、より多くの市民に配布することができた。今後は関係機関と連携し、内容の充実を図り、運動習慣のない市民の運動を始めるきっかけづくりのひとつとなるようさらに周知を強化する。</p>	<p>運動習慣のない市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて取り組めるよう情報を整理し、関係機関と連携を図り、情報提供を行っていく。また、ウォーキングを気軽に取り組めるよう地域でのウォーキングイベントをウォーキング団体と連携し、開催に向けての準備を進めていく。</p>	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											手賀沼ふれあいウォーク実施回数							
											1回	1回	1回	1回	1回			
											手賀沼ふれあいウォーク参加者数							
773人	842人	1,189人	207人	295人														
ウォーキングパスポート発行数																		
388冊	597冊	224冊	123冊	2,289冊														
保健所地域保健課	啓発事業 (※)	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめるきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係</p>	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>	○	○	○	○	○	実施状況					<p>平成29年度は、各地域の地域特性や健康課題に応じて、実施し、一定の参加者数を得た。平成30年度も、各地域の地域特性や健康課題に応じながら、フレイル予防、ロコモ等の柏市として進める運動活動を、他部署と連携を図り、周知啓発をしていく。</p>	<p>引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における運動活動を推進する。</p>		
										H25	H26	H27	H28	H29				
										地域ウォーキング実施回数								
										18回	16回	12回	17回	12回				
										地域ウォーキング参加者数								
										274人	235人	251人	374人	151人				
										地域健康講座実施回数								
4回	7回	10回	13回	31回														
地域健康講座参加者数																		
98人	257人	470人	557人	593人														
保健所地域保健課	啓発事業 (※)	<p>地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数)					<p>地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。</p>	<p>引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における運動活動を推進する。</p>		
										H25	H26	H27	H28	H29				
										-	-	-	2,298人	2,169人				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29				
保健所健康増進課	啓発事業(※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					握力測定や立ち上がりテスト等の体験を行ったり、運動に関するリーフレットを配布。市で開催しているウォークの参加勧奨も実施した。 30年度も同様に運動習慣を促す啓発を実施していく。	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人				
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む								
					啓発実施者数(身体活動・運動)														
					-					1,430人 2,394人 2,173人 1,315人									
										※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む									
生涯学習部スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。	-	スポーツ施設利用者数の増加							スポーツ施設利用者数					スポーツ施設予約システムの利用方法の周知、スポーツ大会等の情報提供を行い、利用者の利便性を図った。	スポーツ施設利用者数の増加を図るため、システムを継続して運用していく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
					783,387人 859,519人 838,827人 888,964人 885,602人														
生涯学習部スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。	市内各小中学校	利用者数の増加		○	○	○	○	○	学校体育施設利用者数					利用団体の自主的運営促進のため、利用団体から選出される総括管理責任者を連絡調整の中心とする形とした。 平成30年度は、他自治体の事業運営方法を調査し、抜本的な見直しを含め事業のあり方を検討していく。	より多くの市内スポーツ団体が学校体育施設開放を利用できるよう、申請受付方法や利用許可条件の見直しを行っていく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											334,952人	354,612人	355,702人	345,890人	319,042人				
生涯学習部スポーツ課	スポーツ推進委員活動	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加とスポーツ実施率の向上	○	○	○	○	○	○	スポーツ推進委員活動参加者数					推進委員の募集をホームページや広報を活用し、委員を増員及び活動の充実を図った。平成30年度は委員の増員について募集チラシ等を作成し、PRを強化していく。	市民のスポーツ活動を更に推進していくため、委員の増員を図り、スポーツ推進委員の活動を更に充実させるよう支援していく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											2,876人	2,528人	3,002人	2,986人	2,944人				
生涯学習部スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援する。	市内総合型地域スポーツクラブ	市内クラブの会員数の増加		○	○	○	○	○	市内クラブ会員数					各団体の活動場所について調整などを行うとともに広報活動により参加者の募集を行う。	会員数の増加を図るため、引き続き広報活動により市内総合型地域スポーツクラブの支援をしていく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											1,131人	995人	1,315人	1,234人	1,134人				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29				
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加	○	○	○	○	○		スポーツ教室・講習会参加者数					平成28年度から市民参加体験型のスポーツイベントを開催し、スポーツを「する」きっかけづくりの場を提供した。指定管理者による自主事業では、「柏市スポーツ施設情報誌」やホームページ、広報などの媒体を使い周知を図っている。	市民がスポーツに親しむことができるよう、より多くの機会を提供していく。		
											H25	H26	H27	H28	H29				3,024人
生涯学習部 スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市体育協会 柏市家庭婦人スポーツ協会 スポーツ少年団	交付団体の市民大会などの参加者の増加					○	○	○	交付団体の市民大会などの参加者数					補助金の交付により、交付団体主催による市民大会等の事業が開催され、交付団体の事業の充実が図られている。	引き続き補助金を交付し、スポーツ事業の充実を図っていく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学習部 スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加					○	○	○	新春マラソン大会参加者数					平成29年度は、市外からの参加も可能とし、幅広い参加者の増員を図った。 平成30年度は、実行委員会へのスポーツ少年団の加入や優勝者への賞品の授与などの仕掛けにより子どもや親子の参加を中心に参加者の増加を図りたい。	子どもや親子の参加を促す広報活動を強化していく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学習部 スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加					○	○	○	手賀沼エコマラソン大会参加者数					平成29年度は市民枠を1,000名増やしたことで、エントリー数は10,000人を超えたが、当日の出場者は台風の影響で6,000人程度となってしまった。 平成30年度は、ランナーにとってより満足度の高い大会とするため、会場レイアウトや大会運営等を見直していく。	平成31年度で第25回記念大会となるため、ランナー確保に向けて、完走者への特典をつける等、魅力ある大会を作り上げていく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業「いきいき健康ライフ講座」	長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学ぶ	—	運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう					○	○	○	いきいき健康ライフ講座参加者					ヨガ体験を通して、心も体もリフレッシュし、健康で明るい日々を送るきっかけづくりとなった。 平成30年度も引き続き実施していく。	中央公民館の休館を予定しているため、実施については、未確定である。	
												H25	H26	H27	H28	H29			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	社年期	高齢期									
学校教育 部 指導課	学校体育の 促進関連事 業	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目  ②「小学校体育授業サポ ート事業」 小学校10校・特別支援学 級を中心とした体育の授 業支援  ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動部 活動指導者の派遣	千葉県小中 学 校 体 育 連 盟 柏 支 部	①児童生徒の 体力向上  ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上  ③運動部活動 に加入している 生徒の意欲・技 能の向上						○	△	①全国平均を上回る項目					平成29年度は、多くの項目が全国平均以上となっており、一定の成果はあがっている一方で瞬発力、持久力、投力に関して課題が浮き彫りになっている。次年度以降も結果分析と対策を各校に周知し、体力向上を目指したい。 ②に関しては、NPOの専門スタッフを配置している8校から高い満足度を得ているが、市内の大半の学校が配置を要望に対して、1/5の学校にしかスタッフを配置できないのが現状である。よって、配置が必要な学校を見極め、適切な配置を行い、最大限の効果があげられるよう運用していきたい。 ③に関しては、外部指導者を市内全中学校に配置している。専門外の顧問も多くいるため、指導者からの専門的な指導により、意欲・技能が向上している事例が多数見受けられる。	①分析ソフトの活用による綿密な実態把握と好事例の周知により、全国平均を上回る項目60%を目指す。  ②各学校の要望を聞きながら、事業の在り方についても見直しを行うことで、より良い方向性を検討する。  ③生徒の意欲・技能の向上を図るとともに、安全・安心な部活動運営ができるよう、運動部活動指導者への啓発を行う。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												62.5%	52.1%	47.9%	43.7%	38.1%			
												②年間210時間の授業支援・実施校の満足度							
												100%	100%	100%	100%	100%			
③中学校運動部活動指導者派遣数					各校 2～5人 計80人	各校 2～5人 計80人	各校 2～5人 計80人	各校 3～5人 計87人	各校 3～5人 計87人										
学校教育 部 教育研 究所	幼児教育の 推進(柏市幼 児教育共同 研究)	幼児教育の今日的課題 をもとに、研究テーマ(運 動遊び)を設定し、教育 委員会と市内全幼稚園・ 全保育園が共同で実践 研究を実施。	教育委員会 市内全幼稚園 市内全保育園	教職員の力量と 専門性の向上  幼児の体力・運 動能力の基礎を 培う						○	実施幼稚園数					平成29年度は、運動遊びの充実を重点に取り組んだ。園児の運動能力測定と生活調査から、多様な運動遊びの経験があると運動能力が高い傾向が見られた。各園で運動遊びの分析を行い、不足している動きを補う運動遊びを考えて実践した。平成30年度は、各園でめざす子供の姿を明確にし、さらに多様な動きを取り入れた実践をしていく。また、「共同研究のあゆみ」の冊子の活用	継続して実施する。		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											33園	33園	33園	33園	33園				
											実施幼稚園児数								
											5,752人	5,633人	5,574人	5,336人	5,064人				
											実施保育園数								
											41園	51園	56園	63園	66園				
実施保育園児数																			
1,733人	1,866人	2,013人	2,051人	2,150人															



(2)身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり																																																	
③1日の歩行時間の増加																																																	
④地域活動やボランティア活動への参加意識向上																																																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																							
保健所 地域保健課	啓発事業 (※)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th></tr> <tr><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>-</td><td>6,109人</td><td>5,235人</td><td>4,869人</td><td>3,979人</td></tr> <tr><td colspan="5">※～H28年度については、下記内容と再掲</td></tr> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(身体活動・運動)</th></tr> <tr><td>-</td><td>1,430人</td><td>2,394人</td><td>2,173人</td><td>2,737人</td></tr> <tr><td colspan="5">※～H28年度については、下記内容と再掲</td></tr> </table>	啓発実施者数(全数)					H25	H26	H27	H28	H29	-	6,109人	5,235人	4,869人	3,979人	※～H28年度については、下記内容と再掲					啓発実施者数(身体活動・運動)					-	1,430人	2,394人	2,173人	2,737人	※～H28年度については、下記内容と再掲					<p>柏市の各地域における推進員の協力を得ることにより、一定の周知・啓発活動を展開することができた。</p> <p>平成30年度も、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。</p>	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
					啓発実施者数(全数)																																												
					H25	H26	H27	H28	H29																																								
					-	6,109人	5,235人	4,869人	3,979人																																								
※～H28年度については、下記内容と再掲																																																	
啓発実施者数(身体活動・運動)																																																	
-	1,430人	2,394人	2,173人	2,737人																																													
※～H28年度については、下記内容と再掲																																																	
○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th></tr> <tr><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>-</td><td>6,109人</td><td>5,235人</td><td>4,869人</td><td>1,872人</td></tr> <tr><td colspan="5">※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む</td></tr> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(身体活動・運動)</th></tr> <tr><td>-</td><td>1,430人</td><td>2,394人</td><td>2,173人</td><td>1,315人</td></tr> <tr><td colspan="5">※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む</td></tr> </table>	啓発実施者数(全数)					H25	H26	H27	H28	H29	-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む					啓発実施者数(身体活動・運動)					-	1,430人	2,394人	2,173人	1,315人	※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む					<p>握力測定や立ち上がりテスト等の体験を行ったり、運動に関するリーフレットを配布。市で開催しているウォークの参加勧奨も実施した。</p> <p>30年度も同様に運動習慣を促す啓発を実施していく。</p>	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。							
啓発実施者数(全数)																																																	
H25	H26	H27	H28	H29																																													
-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人																																													
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む																																																	
啓発実施者数(身体活動・運動)																																																	
-	1,430人	2,394人	2,173人	1,315人																																													
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む																																																	
○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">実施状況</th></tr> <tr><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク実施回数</td></tr> <tr><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td></tr> <tr><td colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク参加者数</td></tr> <tr><td>773人</td><td>842人</td><td>1,189人</td><td>207人</td><td>295人</td></tr> <tr><td colspan="5">ウォーキングパスポート発行数</td></tr> <tr><td>388冊</td><td>597冊</td><td>224冊</td><td>123冊</td><td>2,289冊</td></tr> </table>	実施状況					H25	H26	H27	H28	H29	手賀沼ふれあいウォーク実施回数					1回	1回	1回	1回	1回	手賀沼ふれあいウォーク参加者数					773人	842人	1,189人	207人	295人	ウォーキングパスポート発行数					388冊	597冊	224冊	123冊	2,289冊	<p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; 昨年度に引き続き、早朝から荒天のため参加者が少ない状況が続いている。天候に左右されやすい屋外のイベントであるため、今後の実施等に向けては我孫子市を含めた関係団体と検討をしていく。平成30年度については例年より周知の時期を早め、多くの参加を募る予定。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 平成29年度より内容を改訂し、配布方法も変更した結果、より多くの市民に配布することができた。今後は関係機関と連携し、内容の充実を図り、運動習慣のない市民の運動を始めるきっかけづくりのひとつとなるようさらに周知を強化する。</p>	運動習慣のない市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて取り組めるよう情報を整理し、関係機関と連携を図り、情報提供を行っていく。また、ウォーキングを気軽に取り組めるよう地域でのウォーキングイベントをウォーキング団体と連携し、開催に向けての準備を進めていく。		
実施状況																																																	
H25	H26	H27	H28	H29																																													
手賀沼ふれあいウォーク実施回数																																																	
1回	1回	1回	1回	1回																																													
手賀沼ふれあいウォーク参加者数																																																	
773人	842人	1,189人	207人	295人																																													
ウォーキングパスポート発行数																																																	
388冊	597冊	224冊	123冊	2,289冊																																													
○	○	○	○	△	<p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p>	市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	・歩くことが好きな市民が増える ・市民が運動を始めるきっかけとなる																																										
○	○	○	○	△	<p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p>					市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	・歩くことが好きな市民が増える ・市民が運動を始めるきっかけとなる																																						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29								
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめるきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	柏市民健康づくり推進員	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>							実施状況					<p>柏市の各地域における推進員の協力を得ることにより、一定の周知・啓発活動を展開することができた。</p> <p>平成30年度も、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。</p>	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。						
											地域ウォーキング実施回数												
											18回	16回	12回	17回	12回				地域ウォーキング参加者数				
											274人	235人	251人	374人	151人				地域健康講座実施回数				
											4回	7回	10回	13回	31回				地域健康講座参加者数				
											98人	257人	470人	557人	593人				スポーツ推進委員活動参加者数				
																			H25 H26 H27 H28 H29				
											2,876人	2,528人	3,002人	2,986人	2,944人				推進委員の募集をホームページや広報を活用し、委員を増員及び活動の充実を図った。平成30年度は委員の増員について募集チラシ等を作成し、PRを強化していく。				
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動 (*)	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加と、スポーツ実施率の向上	○	○	○	○	○	○													

### 3. 休養・こころの健康

(1)睡眠等による十分な休養の確保																		
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動	〈出前講座〉 こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。  〈市民講座〉 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。			○	○	○	○	出前講座参加者数					出前講座は申し込み件数も増加し、大きな団体からの申し込みがあったこともあり、参加人数も増加した。地域団体や業務に関連のある団体からの申し込みが多い現状であるが、職域への働きかけも進めていく。市民講座は、広く一般に精神保健を知っていただく機会となるため、より周知に努めていきたい。	継続	
											延228人	延224人	延365人	延232人	延629人			
											市民講座参加者数							
(2)上手なストレス解消																		
②ストレスを感じた人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な連動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)			○	○	○		推進委員会実施回数					フレイル予防に係る事業や活動については、見える化するなど共有を図ることは出来たが、関係者全体が連動する動きには至らず課題となった。平成30年度は、地域としての評価に着手する「フレイルチェックの充実と地域活動との連動」と市域全体で広く認識してもらう「フレイル予防の効果的な啓発活動」を特に強調して取り組むべき事項として実施する。 【H30具体的活動】 フレイルチェック:地域サロン、居場所等でのフレイルチェック、講座を地域包括支援センターを軸に市内全域で展開。 効果的な啓発活動:周知・広報の予算(200万円)を活用して横断幕、フラッグの掲示やコンテンツ作りを実施(福祉政策課、地域包括支援課、健康増進課、企画調整課がコアメンバー)及び健康づくり庁内連絡会議を利用し、前述の啓発活動の共有及び活動の仕掛け、実装に向けた支援に取り組む。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・連動を推し進めフレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。	
											—	—	1回	3回	3回			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動 (*)	<p>&lt;出前講座&gt; こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>&lt;市民講座&gt; 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							出前講座参加者数					出前講座は申し込み件数も増加し、大きな団体からの申し込みがあったこともあり、参加人数も増加した。地域団体や業務に関連のある団体からの申し込みが多い現状であるが、職域への働きかけも進めていく。市民講座は、広く一般に精神保健を知っていただく機会となるため、より周知に努めていきたい。	継続		
											H25	H26	H27	H28	H29				
											延228人	延224人	延365人	延232人	延629人				
											市民講座参加者数								
											—	53人	77人	74人	87人				
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等	<こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。								精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												65件	48件	46件	54件	55件			
												職員による面談や訪問(延数)							
												1,694件	1,288件	1,357件	1,636件	1,800件			
											電話相談								
											6,797件	7,248件	6,660件	7,570件	8,235件				
子ども部 子育て支援課 生涯学習部 図書館 保健所 地域保健課	ブックスタート事業	市民ボランティアが1歳6か月健診の受診親子に対し、親子の優しいことばかけやふれあいが子どもの心の成長や言葉の発達に大切であり、絵本を介することによりそういった時間や機会が持ちやすくなること伝える。親子で絵本を開く楽しい体験をしていただき、絵本をお渡ししている。	柏市ふれあいブックスタートの会	<p>・絵本を通じ、親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり、子どもの豊かな心を育む</p> <p>・ことばかけやふれあいにより、愛される経験、守られている経験を積み重ねることが愛着形成につながり、乳幼児の健全な成長を図る</p>								受取者数					平成29年度は、延べ543人のボランティアが参加し、ブックスタート事業を実施(ほぼ全ての受診者が絵本を受け取った)。平成29年11月9日に受取者数5万組達成し、平成30年2月3日にアミュゼ柏で開催の「はぐはぐ柏☆子育て応援フォーラム」の中で、ブックスタート5万組達成記念式典を行い、ボランティアへ感謝状を贈呈した。今後も、事業を継続しながら、関係課及び連携機関で事業のあり方を協議検討していく。	平成30年度の協議検討結果に基づき、平成31年度の方向性を決定する。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												3,203人	3,354人	3,120人	3,407人	3,391人			
子ども部 子育て支援課 子ども部 保育運営課	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)		子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。								地域子育て支援拠点事業 延利用者数					平成29年11月に単独型の2か所目の拠点となる「はぐはぐひろば若葉」を柏市青少年センター内に開設した。開所5ヶ月間で約6,000人の親子に利用いただいております。大変盛況である。平成30年度は、単独型3か所目の新規開設に向けて開設候補地の検討を進めていく。	子ども、子育て支援事業計画の策定に伴い、平成32年度以降の事業の予定を定める。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												115,200人	117,382人	117,956人	119,872人	116,807人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29				
生涯学習部 中央公民館	高齢者教育 事業 かたくり学級	高齢者に積極的に学習の場に参加してもらうため、多分野にわたり新鮮な情報を提供し、健康で明るい暮らしや生きがい探しを支援する。	—	・生きがいづくり や仲間づくり  ・健康維持・増進を図り、健康で楽しい日々を過ごせる							○	講座実施状況					講義と体験を組み合わせ実施した。引きこもりがちな高齢者の生活を、講座に出向くことで様々なことに関心を持ってもらい、生きがい探しの支援を目的とした講座である。30年度も引き続き実施していく。	中央公民館の休館を予定しているため、実施については未確定である。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												実施回数							
												5回	5回	5回	13回	11回			
参加者数																			
211人	157人	159人	364人	226人															
生涯学習部 中央公民館	家庭教育事業 家庭教育講演会	子育て支援を目的とした「柏市私立幼稚園協会」との連携事業。直面する課題をテーマに講演会を実施。子ども・家族・自分自身を見つめ直し、新たな一歩を踏み出すきっかけづくりを目指す。	柏市私立幼稚園協会	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の解消							○	講座実施状況					「プログラミング教育」をテーマに講演会を実施した。子育て支援として、子どもの発達段階に応じたかわり方についての学習は極めて重要であることから、30年度も継続して実施していく。	継続実施予定	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												実施回数							
												1回	1回	1回	1回	1回			
参加者数																			
381人	262人	385人	234人	200人															
生涯学習部 中央公民館	地域づくり事業 現代課題講座	地域社会が抱える様々な問題を専門的な視点から掘り下げ関心を高め、人材育成を図り、地域課題の解決へとつなぐことをめざす。	—	地域の不安の解消							○	講座実施状況					3か所の近隣センターを会場に、地縁組織や近隣センターと連携して地域課題を取り上げ講座を実施した。平成30年度も、地域課題解決に資するよう、引き続き取り組んでいく。	近隣センターを会場に、関係部署や地縁組織等と連携しながら実施していく。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												実施回数							
												—	—	1回	1回	3回			
参加者数																			
—	—	77人	69人	91人															
～H27 生涯学習部 沼南公民館  H28～ 中央公民館	高齢者教育 事業 いきいきセミナー	高齢者が健康でより充実した豊かな人生を送るため地域の方々との交流を深め、互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。	—	講座で学んだことを、生活の中で取り入れてもらい、健康で長生きをする。							○	講座実施状況					「共に学び、共に暮らすことを学ぶ」をテーマに、次世代育成への取り組みを学んだ。30年度も継続して実施していく。	中央公民館の休館を予定しているため、実施については未確定である。	
												H25	H26	H27	H28	H29			
												実施回数							
												5回	7回	8回	8回	8回			
参加者数																			
171人	211人	306人	280人	228人															

(3)自殺予防対策																		
③自殺者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健福祉部 社会福祉課	自殺予防対策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					自殺対策基本法の改正に伴い、市町村にも自殺対策計画の策定が義務付けられた。平成29年度は国から示されたガイドラインやデータをもとに自殺予防対策連絡会議を11月に開催。なお平成30年度は、自殺対策計画の議論を中心に、2回程度の開催を予定している。	自殺対策計画に位置づけた事業の進捗確認・評価等を中心に、引き続き会議を開催していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											73人	73人	68人	57人	未確定			
											人口10万人対率							
						18.0	17.9	16.4	13.7	未確定								
保健福祉部 社会福祉課	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、一次予防(事前予防)・二次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)の観点から対策を実施	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					平成29年度は相談窓口案内の冊子作成・配付、無料相談事業、自殺予防ゲートキーパー養成研修、自死遺族支援事業を実施した。平成30年度は上記に加え、若年層向けの対策として映画上映会を開催し、一層の啓発に努める。	平成30年度に引き続き事業を実施していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											73人	73人	68人	57人	未確定			
											人口10万人対率							
						18.0	17.9	16.4	13.7	未確定								
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等(*)	<こころの健康相談>精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											65件	48件	46件	54件	55件			
											職員による面談や訪問(延数)							
						1,694件	1,288件	1,357件	1,636件	1,800件								
						電話相談												
						6,797件	7,248件	6,660件	7,570件	8,235件								
保健所 地域保健課	啓発事業(*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食・タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											-	-	-	2,298人	2,169人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期			
保健所 地域保健課	妊娠届出受 理と母子健 康手帳交付 事業	妊娠届出受理時、専門 職が面談をして、こころ の健康チェックを実施。 気分の落ち込みや不安 の有無を確認し、早期に 支援を開始する。	市内関係各課 産科医療機関 等	妊娠や出産へ の不安が高い 方や、うつ病の 疑いのある方 に対し、早期発見・ 早期支援がで きる。	○					母子健康手帳交付状況					面談率の向上をめざし、要支援者を 的確に把握し、早期に継続支援へつ なげる。	関係機関との連携を 強化し、ケース会議の 開催や研修を実施 し、産後の育児不安 を軽減することで虐待 を予防していく。	
										H25	H26	H27	H28	H29			
										3,373人	3,551人	3,414人	3,315人	3,303人			
										母子健康手帳交付時の専門職の面談率							
-	-	-	47.6%	73.0%	H29.10月より、専門職による全数面接の体制 を整えた												
保健所 地域保健課	乳児家庭全 戸訪問事業	市内の乳児がいる全 家庭を訪問。生後3ヶ月ま でに保健師・助産師が新生 児訪問を実施し、育児支 援チェックリスト・産後う つ病の早期発見のスクリー ニング指標(EPDS)・赤 ちゃんへの気持ち質問票 (ボンディング)を用いて、 育児ストレスが高いと思 われる方への訪問等の 継続支援を実施。	市内関係各課 医療機関等 (産科、小児 科、精神科 等)	育児ストレスが 高いと思われる 方や、医療の必 要な産後うつ病 の疑いのある方 に対し、早期発 見・早期支援が できる。	○					乳児家庭全戸訪問事業実施者数					面談率の向上をめざし、要支援者を 的確に把握し、早期に継続支援へつ なげる。	関係機関との連携を 強化し、ケース会議の 開催や研修を実施 し、産後の育児不安 を軽減することで虐待 を予防していく。	
										H25	H26	H27	H28	H29			
										2,224人	2,330人	2,609人	3,006人	2,169人			
										乳児家庭全戸訪問事業面談率							
-	-	-	85.4%	95.7%	H28年度より、妊産婦・新生児訪問とこんに ちは赤ちゃん訪問を統合し、乳児家庭全 戸訪問事業を開始した。※H25～27は新 生児訪問として希望者のみに実施して いた。												
保健所 健康増 進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関 する啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテ マについての啓発を行 う。	市内関係各課 各種団体及 び企業関係	幅広いライフ ステージの市民 を対象にポピュ ラーなアプロ ーチをすること で、健康に関 する気づきの場 を作る。	○					啓発実施者数(全数)					H29年度は実施できず。 H30年度は休養、心の健康を含 めた内容の啓発を、関係部署と 連携を図り実施する。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。	
										H25	H26	H27	H28	H29			
										-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人			
										啓発実施者数(休養・こころの健康)							
-	500人	-	-	-	※H28年度までは、柏市民健康 づくり推進員の活動を含む												
学校教 育部 児童生 徒課	不登校児童 生徒の支 援事業	市内の小中学校で、何 らかの要因による不登校 状態の児童生徒を対象 に行う支援事業。本人の 自立を促すとともに、学 校復帰を目指すため、学 習支援や訪問活動を行 っている。	-	不登校児童 生徒の減 少	○					適応指導教室学習相談室入室入級者数					学習相談室、適応指導教室の 利用者が微増している。不登 校児童生徒を抱える保護者へ 周知され、家庭以外で自立を 促す場となっている。一方 で、学校復帰につながるま では難しく、不登校児童生 徒の減少には課題が残る。	学校復帰だけを目的 とするのではなく、不登校 になった要因や背景に目を 向けながら、児童生徒が学 習する権利を損なうこと のないよう、学校や関係機 関との連携を図りながら支 援を行っていく。	
										H25	H26	H27	H28	H29			
										-	-	70人	63人	75人			
										教育相談件数(電話)							
										-	-	2,616件	2,944件	2,673件			
										教育相談件数(来室・訪問等)							
-	-	790件	881件	605件													
教育相談件数(家庭訪問)																	
-	-	987件	781件	802件													

4. 喫煙

(1) 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及																	
① 喫煙率の減少																	
② 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所健康増進課	タバコ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦協議会会議</li> <li>・禁煙補助剤体験事業</li> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座</li> <li>・乳幼児保護者向けリーフレット作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・柏歯科医師会</li> <li>・柏市薬剤師会</li> <li>・タバコ問題を考える会・千葉</li> <li>・学校</li> <li>・PTA</li> <li>・私立幼稚園協会</li> <li>・柏商工会議所</li> <li>・主任児童委員</li> <li>・柏市民健康づくり推進員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙をする市民が増える</li> <li>・喫煙する市民が減る</li> <li>・学校の周囲で喫煙する大人が減る</li> <li>・タバコの害や受動喫煙について正しい認識を持つ大人の増加</li> </ul>							禁煙補助剤体験者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度の禁煙補助剤体験の利用者数は大幅に減少。1ヵ月後の禁煙継続を確認できる割合も少なかったため、事業の見直しを図り、H29年度で禁煙補助剤体験を終了とした。H30年度は、喫煙者へ禁煙支援に関する効果的な情報発信について検討し、実施していく。</li> <li>・小中学校への出張講座を実施し、タバコの害や受動喫煙についての理解を深めた。30年度も引き続き実施し、未実施の学校への啓発について検討する。</li> <li>・乳幼児の保護者向けの啓発チラシを1歳6ヶ月健診、3歳児健診にて配布。H30年度は、健診のほか、妊娠届出時、市内保育園(全年長児)、市内幼稚園(全年長児)にも配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙支援情報(禁煙支援薬局や禁煙外来等)の効果的な周知方法の検討。</li> <li>・小中学校での出張講座実施校の増加を図る。</li> <li>・啓発リーフレットを継続して配布。たばこの害や受動喫煙について正しい知識を持てるよう効果的な啓発を検討していく。</li> </ul>				
					H25	H26	H27	H28	H29	203人	64人				115人	119人	44人
					出張講座実施校数					29校	18校				16校	14校	11校
保健所地域保健課	啓発事業(*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)	地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。				
					H25	H26	H27	H28	H29	-	-				-	2,298人	2,169人
保健所健康増進課	啓発事業(※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	乳幼児の保護者や成人式を迎える人を対象にリーフレットを作成し、各イベントで啓発を実施。また、受動喫煙防止街頭キャンペーンも実施した。H30年度も引き続きリーフレットの配布等による啓発を行うとともに、受動喫煙防止キャンペーンも実施していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。				
					H25	H26	H27	H28	H29	-	6,109人				5,235人	4,869人	1,872人
					※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲												
					啓発実施者数(喫煙)					-	1,681人				50人	900人	1,450人
※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲																	



(2)受動喫煙の防止																		
③受動喫煙の機会を有する人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					H25	H26	H27	H28
保健所 健康増進課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモッ子作戦協議会会議 ・柏ノースモッ子作戦出張講座 ・タバコ講演会 ・禁煙・分煙ありがとう店登録店制度 ・乳幼児保護者向けリーフレットの作成、配布 ・「たばこの煙困りましたカード」の設置	・柏市医師会 ・柏歯科医師会 ・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉 ・柏商工会議所 ・環境サービス課 ・地域支援課	受動喫煙による健康被害の減少	○	○	○	○	○	○	禁煙分煙ありがとう店登録店					「禁煙分煙ありがとう店」の実態調査及びHPにて店舗の周知を実施。 「たばこの煙困りましたカード」を作成し、市役所内、市内産婦人科等に設置。 H30年度も引き続き実施していく。	国の動向と合わせ、受動喫煙による健康被害の減少に向けた事業方法の検討。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
															H25			
保健所 健康増進課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					乳幼児の保護者や成人式を迎える人を対象にリーフレットを作成し、各イベントで啓発を実施。また、受動喫煙防止街頭キャンペーンも実施した。 H30年度も引き続きリーフレットの配布等による啓発を行うとともに、受動喫煙防止キャンペーンも実施していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。	
環境部 環境サービス課	ぼい捨て等 防止事業	啓発看板・路面シール・横断幕の設置等の啓発を行い、路上喫煙等防止を推進し、ぼい捨てごみを減少させる。	—	ぼい捨てごみ、路上喫煙・歩行喫煙者の減少。	△	○	○	○	△		過料徴収件数					柏駅前における、小学生の声をういた啓発アナウンスの内容を変更した。また、土地所有者の了解を得て、DayOneタワー周辺を禁煙等強化区域とした。 30年度は路上喫煙等防止各駅パトロールの補助としてシルバーを雇用する。	市内各駅周辺におけるぼい捨てごみ減少とそれに係る経費削減。 効果的な啓発及びパトロールの継続。	

(3) 禁煙の支援														
④ 禁煙達成率														
⑤ 成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				
保健所 健康増進課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙補助剤体験事業</li> <li>禁煙外来をHPで公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市薬剤師会</li> <li>柏市医師会</li> </ul>	禁煙する市民が増える				○	○	○	禁煙補助剤体験者数 H25 203人 H26 64人 H27 115人 H28 119人 H29 44人	<ul style="list-style-type: none"> <li>H29年度の禁煙補助剤体験の利用者数は大幅に減少。1ヵ月後の禁煙継続を確認できる割合も少なかったため、事業の見直しを図り、H29年度で禁煙補助剤体験を終了とした。H30年度は、喫煙者へ禁煙支援に関する効果的な情報発信について検討し、実施していく。</li> <li>禁煙外来を年度も引き続きHPIにて公開。30年度も継続して実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙支援情報(禁煙支援薬局や禁煙外来等)の効果的な周知方法の検討。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙外来をHPで公開</li> <li>柏市国保特定健診受診者へ啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市医師会</li> <li>保険年金課</li> </ul>	身近な医療機関で保険による禁煙指導が受けられることができる				○	○	○	市内禁煙外来実施医療機関数 H25 25件 H26 26件 H27 33件 H28 29件 H29 29件	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の禁煙外来実施医療機関をH29年度も引き続きHPIにて公開。H30年度も継続して実施。</li> <li>H30年度は禁煙支援機関マップを作成予定。</li> <li>柏市国保特定健診受診者に配布する情報提供紙「かしわ健康づくり通信」に市内禁煙外来一覧を掲載。30年度も連携して禁煙支援情報の周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙支援情報(禁煙支援薬局や禁煙外来等)の効果的な周知方法の検討。</li> </ul>	

(4) 未成年者の喫煙防止																		
⑥ 喫煙経験率																		
⑦ 喫煙願望率																		
⑧ 周囲で喫煙する大人の存在率																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモツ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の喫煙経験率が減る</li> <li>・小中学生の「タバコがかっこいいと思う」割合が減る</li> <li>・タバコの害について正しく知ることができる</li> </ul>			○	○					出張講座実施校数 H25 H26 H27 H28 H29 29校 18校 16校 14校 11校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害や受動喫煙についての理解を深めるため、小中学校への出張講座を実施。30年度も引き続き実施し、未実施の学校への啓発について検討する。</li> <li>・小学4年生から中学3年生を対象に各学年に合わせた「柏ノースモツ子新聞」を発行。30年度は活用状況について確認し、新しいデータへ更新する。</li> <li>・アンケート結果より、喫煙願望のある子どもの周りの大人の8割近くが、喫煙の実態があることが分かった。30年度は子どもたちへの教育のみならず、周囲の大人へのアプローチを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健課等関係機関と連携し、小中学校での出張講座実施校の増加を図る。また、禁煙教育の実施状況を把握し、子どもたちが正しい選択ができるようなアプローチを継続する。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモツ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> <li>・乳幼児保護者向けリーフレットの作成、配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> <li>・幼稚園協会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害について正しく知る大人が増える</li> <li>・禁煙する大人が増える</li> </ul>					○	○	○		出張講座実施校数 H25 H26 H27 H28 H29 29校 18校 16校 14校 11校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害や受動喫煙についての理解を深めるため、小中学校への出張講座を実施。30年度も引き続き実施し、未実施の学校への啓発について検討する。</li> <li>・小学4年生から中学3年生を対象に各学年に合わせた「柏ノースモツ子新聞」を発行。30年度は、活用状況について確認し、新しいデータへ更新する。</li> <li>・アンケート結果より、喫煙願望のある子どもの周りの8割近くが喫煙の実態があることが分かった。30年度、子どもたちへの教育のみならず、周囲の環境整備も整えていく。</li> <li>・乳幼児の保護者向けの啓発チラシを1歳6ヶ月健診、3歳児健診にて配布。30年度は、健診のほか、妊娠届出時、市内保育園(全年長児)、市内幼稚園(全年長児)にも配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発リーフレットを継続して配布。たばこの害や受動喫煙について正しい知識を持てるよう効果的な啓発を検討していく。</li> </ul>			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス						
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
保健所 健康増 進課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関する 啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテー マについての啓発を行う 。	庁内関係各課  各種団体及び企業 関係	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュレ ーションアプロ ーチをすること で、健康に関する 気づきの場を作 る。							啓発実施者数(全数)					乳幼児の保護者向け及び成人式を迎 える人を対象にリーフレットを作成し、 各イベントで啓発を実施。また、受動喫 煙防止街頭キャンペーンも実施。 30年度も引き続きリーフレットによる啓 発を行うとともに受動喫煙防止キャンペ ーンも実施していく。	増進計画の目標達成に 近づける内容の啓発を 行っていく。			
											H25	H26	H27	H28	H29					
					○	○	○	○	○	○	-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人					
					※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む					啓発実施者数(喫煙)										
											-	1,681人	50人	900人	1,450人	※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む				

5. 飲酒

(1)過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及																		
①「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
					-	-	-	2,298人	2,169人									
保健所 健康増進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					・スマートドリンク(上手にお酒を飲む人)に関するリーフレット等を配布。H30年度も引き続き啓発を実施していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
					-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人									
					※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(飲酒)							
					-	-	580人	1,200人	800人									
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む																		

(2)健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止																	
②毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少																	
③妊婦の飲酒率の減少																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 保健予 防課	本人・家族の 相談・訪問支 援等 (※)	<p>〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談。</p> <p>〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをとおして依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。</p> <p>〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自助グループの効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。</p> <p>〈HAPPYプログラム 個別・集団〉 アルコール減酒のためのプログラムを実施し、適正飲酒を目指す。</p>	柏断酒新生活会	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができる。													
					アルコール相談 精神科医による相談延数										<p>アルコール関連の問題は本人だけでなく周囲への影響も大きく、早めの介入ができることが望ましい。減酒プログラム「K-HAPPYプログラム」を実施し、そのフォローアップも実施している。</p> <p>酒害についてや自助グループの効果等を広く伝え、必要な相談や教室等につながられるよう、周知に努めていく。</p> <p>アルコールデイケアクラブについては、HAPPYプログラムの開始に伴い、H28年度を持って終了とした。</p>	継続	
					H25	H26	H27	H28	H29								
					10件	11件	11件	12件	12件								
					アルコール相談 職員による面談や訪問延数												
					359件	106件	184件	228件	191件								
					アルコール・デイケアクラブ 参加者延数												
182人	118人	60人	77人	—													
アルコール家族教室 参加者延数																	
36人	71人	81人	79人	110人													
酒害教室参加者延数																	
289人	233人	246人	181人	200人													

(3) 未成年者の飲酒防止

④ 未成年者の飲酒経験率の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29						
保健所 健康増進課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					29年度、未成年飲酒防止に関する啓発は実施できず。30年度は関係部署と連携を図り、推進していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。				
											啓発実施者数(飲酒)										

## 6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及																							
①3歳児でむし歯がない人の割合の増加																							
②12歳児のDMF歯数の減少																							
③歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合の減少																							
④40歳で喪失歯のない人の割合の増加																							
⑤進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合の減少																							
⑥60歳代における咀嚼良好者の割合の増加																							
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス									
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
保健所 地域保 健課	子育て支援 事業(母と子 のつどい)	妊婦、1歳6月児くらいまでの乳幼児と保護者を対象に、市内20地域で実施 歯・口腔に関するワンポイント啓発、歯科相談	柏市民健康づくり推進員	・甘味食品や飲料を習慣化する児の割合の減少 ・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持っている割合の増加	○			△			つどい参加者数(歯科の回のみ)					・口腔の健康づくりを家族ぐるみで取り組むため、フッ化物応用やかかりつけ歯科医づくり等情報提供を行っている。 ・8か月児相談事業においても、口腔の健康づくりについて啓発を行う。 ・1歳6か月児健診問診票より、フッ化物配合歯磨き剤の使用が55.8%と増加傾向である。今後もより良い生活習慣確立に向けた具体的な啓発を実施する。	・マイナス1歳から歯・口腔の健康づくりを家族全体で取り組めるよう、正しい情報を市民へ提供していくとともに、柏市民健康づくり推進員を通じた情報発信ができるよう、部会研修等で情報提供を行う。						
											H25	H26	H27	H28	H29				6,710人	6,189人	6,600人	5,762人	5,473人
保健所 地域保 健課	2歳の歯☆ピカランド及びフッ化物歯面塗布事業	<歯☆ピカ> 2歳児の親子を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導  <フッ化物> 2.6歳対象に医療機関にてフッ化物歯面塗布によるむし歯予防事業(無料受診券全対象者郵送)	柏歯科医師会 柏市医師会	・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加	○			△			3歳児健診受診状況					・H29年度途中より受診しやすい環境整備の一環として、周知時期を早めた。 ・歯☆ピカランド受診率44.8%で微増、フッ化物歯面塗布事業受診率46.0%で横ばいである。引き続き、受診率増加につながるよう周知方法や必要性の啓発を検討していく。 ・歯☆ピカランドにおけるフッ化物配合歯みがき剤の使用率は84.4%と増加傾向である。 ・3歳児健診における健歯者率の増加が見られている。引き続きマイナス1歳からの切れ目のない歯・口腔の健康づくり支援を行っていく。	・各事業への参加を促す啓発内容・方法を検討し、受診率向上につなげる。						
											H25	H26	H27	H28	H29				3,791人	3,699人	3,566人	3,674人	3,535人
											対象者数								3,791人	3,699人	3,566人	3,674人	3,535人
											歯科受診者数								3,400人	3,292人	3,231人	3,313人	3,221人
											健歯者率								82.7%	81.0%	80.5%	83.7%	85.4%



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保健課	母子歯科保健事業「歯っぴいかむかむかしわっ子作戦！！」	<地域における依頼の健康教育> 子育て支援センター、地域サロンにおいて、「育児講座」として地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 <幼稚園・保育園等での歯みがき指導> 保育園、幼稚園の園児を対象に食生活を含まむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯予防の啓発を実施	保育運営課 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師会	・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加	○						△	依頼の健康教育(母子)実施件数 H25 H26 H27 H28 H29 10件 8件 6件 9件 5件 実施者数 264人 193人 137人 260人 97人 巡回歯みがき指導実施園数 30園 39園 37園 40園 41園 巡回歯みがき指導実施者数 2,997人 3,056人 3,062人 2,822人 2,553人	・幼稚園協会及び保育運営課を通じた周知を実施していることで、実施園数が増加している。各園においてむし歯予防を意識した昼食後の歯みがき習慣のきっかけづくりにもつながっている。 ・H29年度は「歯みがき指導実施マニュアル」を見直し、保育運営課主催看護師研修会において情報発信を行った。H30年度においても「歯みがき指導マニュアル」を基に園児の健康管理を行う園職員への啓発を行っていく。	・引き続き、依頼の健康教育を実施しつつ、指導者育成のための取り組みも行う。				
		小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を含まむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯、歯周病予防の啓発を実施	学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師会	・給食後の歯みがき習慣の徹底 ・食後の歯みがき習慣の徹底 ・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・定期健診を受ける者の増加	○						△	実施校数(他学年の依頼校) H25 H26 H27 H28 H29 30校 33校 31校 31校 31校 他学年依頼の健康教育実施者数 2,559人 2,916人 3,116人 2,619人 2,774人 12歳児の健歯者率 50.2% 51.4% 61.9% 59.4% 65.8% 12歳児のDMF歯数 1.28本 1.19本 0.84本 0.99本 0.71本	・H29年度は関係機関(柏歯科医師会・学校保健課)と児童・生徒の歯・口腔の健康づくりを推進していく上で情報共有・交換を図る機会があった。また、市内全小学校の1年生に対するむし歯予防啓発を行うことで、学校・学校歯科医と連携しやすい環境が整っている。引き続き3者で連携を図りながら、支援を行っていく。	・学校、学校歯科医、児童、生徒、保護者に対し、保健所より適切な情報発信を行うことで、歯・口腔の健康づくりにつなげる。				
保健所 地域保健課	啓発事業(※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H25 H26 H27 H28 H29 - 6,109人 5,235人 4,869人 3,979人 啓発実施者数(歯・口腔の健康) - 150人 1,801人 2,156人 952人	歯や口腔に関するリーフレットを作成し、伝えたいことに的を絞って実施した。また、他課及び関係機関と連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。 30年度も同様に行っていきたい。	同様に実施	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び 企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					歯科検診推進や口腔ケア等に関するリーフレットを作成し、啓発を実施。30年度も引き続き実施予定。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。					
											H25	H26	H27	H28	H29							
											-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人							
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む											
											啓発実施者数(歯・口腔の健康)											
											-	150人	1,801人	2,156人	350人							
											※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む											
学校教育 部 学校保健課	健康診断事業	<p>&lt;定期歯科健診&gt; 学校医による、全校児童生徒のう歯・歯肉・歯列等の健診</p> <p>&lt;歯みがき指導&gt; 保健所歯科衛生士による全小学校1年生を対象とした歯みがき指導(学校保健課で日程・人数調整)</p>	学校歯科医 保健所	<p>12歳児のDMF歯数の減少</p> <p>歯肉炎を有する人の割合の減少</p>							定期歯科健診状況					<p>定期健康診断を各校で4～6月に実施。CO(要観察歯)、GO(歯周疾患要観察者)に関して、秋冬の継続健診を実施している学校もある(20/62校)。</p> <p>歯みがき指導に関しても各学校が積極的な取り組みを図っているところであり、小学1年生以外の学年も希望により保健所歯科衛生士による歯みがき指導を実施している(小学校:23/42校)(中学校:4/20校)。</p> <p>学校歯科医による歯みがき指導も小学校2校、中学校1校で実施している。</p>	<p>柏歯科医師会では、学校歯科医が研修会等を実施している(現在、学校歯科医マニュアル第3版まで改訂され、それに基づき、各校で健診が実施されている。(平成30年度、養護教諭向けのマニュアルも配布。)</p> <p>目標値達成に向け、保健所歯科衛生士、学校歯科医、養護教諭の連携強化の働きかけを図る。</p>					
															H25				H26	H27	H28	H29
											受診者数											
											3,270人	3,326人	3,273人	3,268人	3,244人							
											12歳児のDMF歯数											
											1.28本	1.19本	0.84本	0.99本	0.71本							
保健所 健康増進課	歯周病検診事業	対象者(満30、40、50、60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	<p>30・40歳における喪失歯のない人の割合増加</p> <p>30・40歳の進行した歯肉炎を有する人の割合減少</p>							喪失歯のない人の割合(30歳)					<p>平成29年度より受診率の向上及び受診しやすい環境づくりの一環として受診期間を当初の2ヶ月から最長9ヶ月に変更したが、受診率向上には至らなかった。平成30年度は同様の課題に対して、対象者がより興味が湧くよう受診券の内容を一部変更した。</p>	<p>SNS等を活用し、事業周知の強化を図り、受診率向上を目指す。また、歯周病予防について働き世代、子育て世代を中心に関係機関と連携し啓発を図る。</p>					
															H25				H26	H27	H28	H29
											87.3%	85.6%	84.7%	88.9%	80.3%							
											喪失歯のない人の割合(40歳)											
											74.9%	73.3%	72.3%	75.2%	73.2%							
											進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(30歳)											
											45.3%	55.4%	54.0%	57.3%	52.9%							
						進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(40歳)																
						53.6%	58.0%	60.1%	62.9%	61.3%												

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29				
保健福祉部 地域医療推進課	訪問口腔衛生指導事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問口腔衛生指導の実施</li> <li>・医療機関(病院・歯科医院等)との連絡調整</li> <li>・一般市民への啓発事業</li> <li>・地域包括支援センター、介護保険事業者等の従事者説明及び講演会の実施等への補助事業</li> </ul>	柏歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けることにより、口腔機能を維持し、生活の質の向上を図る。</li> <li>・市民が、在宅療養状態になっても、安心して歯科治療を受けることができる環境整備。</li> </ul>								訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施した方の口腔機能向上					<p>多職種との連携会議への参加や研修会の開催により、多職種からの相談が増加している。また、口腔ケアの実施により、誤嚥性肺炎の予防につながるケースも多く、在宅療養者のQOLの向上に寄与している。引き続き、多職種との連携強化への充実に支援し、口腔ケアの実施数の増加を図る。</p>	関係部署、関係機関と連携を図り、引き続き取り組んでいく。	
											○	70%	80%	80%	80%	75%			

(2) 定期的な歯科健康診査の受診勧奨																					
⑦ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加																					
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス							
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
保健福祉部 地域医療推進課	特殊歯科診療事業支援事業	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	柏市医療公社 柏歯科医師会	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	○	○	○	○	○	○	患者数					障害者歯科保健・医療の取り組みの一環として、障害福祉課・地域保健課・柏歯科医師会と連携を図り、必要な方が適切な医療を受けられるような体制づくりを働きかける。	関係部署、関係機関と連携を図り、引き続き取り組んでいく。				
											H25	H26	H27	H28	H29				3,206人	3,241人	3,822人
保健所健康増進課	歯周病検診事業(※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	△	△	○	○	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)					平成29年度より受診率の向上及び受診しやすい環境づくりの一環として受診期間を当初の2ヶ月から最長9ヶ月に変更したが、受診率向上には至らなかった。平成30年度は同様の課題に対して、対象者がより興味を湧くよう受診券の内容を一部変更した。	SNS等を活用し、事業周知の強化を図り、受診率向上を目指す。また、歯周病予防について働き世代、子育て世代を中心に関係機関と連携し啓発を図る。						
									全体								28.0%	24.4%	23.0%	29.3%	28.8%
									30歳								21.5%	18.8%	23.3%	25.8%	28.3%
									40歳								25.4%	23.7%	31.1%	31.1%	28.4%
									50歳								30.2%	19.6%	24.6%	28.1%	23.0%
									60歳								36.4%	35.2%	35.8%	31.8%	36.6%

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 健康増 進課	健康かむか む運動補助 金	柏歯科医師会が主催する 地域歯科保健医療啓 発の一環。 ・各種コンクール実施、表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画 等への補助事業	柏歯科医師会 教育委員会	歯や口腔の健 康づくりに関心 を持ち、主体的 に取り組む市民 が増える。	○	○	○	△	△	○	口腔衛生大会参加者数					より身近な地域での歯科医師による 啓発活動の一環として、地域でのイ ベントや地域サークル等において、歯 や口の健康づくりに関する啓発を行 った。平成30年度においても広く周知 し、より多くの市民とふれあい啓発を 図る予定。	各ライフステージに合 わせた歯や口の健康 づくりに関する情報提 供を行い、地域ぐるみ 及び家族ぐるみでの 健口づくりを推進して いく。	
											1,924人	928人	1,289人	1,903人	2,568人			
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室	歯・口腔の健康に関して、 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ、必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減	○	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者数					8月、12月、3月に実施している矯正歯 科相談専門日に来所者が増加してお り、歯科医師の従事者数を増加して 対応した。 平成30年度についても歯科医師会と 連携を図り、同様に対応していく予定 。	保健所の専門的な相 談機能のひとつとし て、利用者のニーズ に応じた対応を歯科 医師会と情報交換及 び共有しながら進め ていく。	
											91人	77人	78人	74人	119人			

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備

⑧歯や口の状態に関する満足度(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業 (※)	対象者(満30, 40, 50, 60 歳)に個人通知を行い, 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周疾 患検診を実施する。	柏歯科医師会	歯や口の状態 に満足している 人の割合増加							口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合					平成29年度より受診率の向上及び受 診しやすい環境づくりの一環として受 診期間を当初の2ヶ月から最長9ヶ月 に変更したが、受診率向上には至ら なかった。平成30年度は同様の課題 に対して、対象者がより興味が沸くよ う受診券の内容を一部変更した。	SNS等を活用し、事業 周知の強化を図り、 受診率向上を目指す 。また、歯周病予防に ついて働き世代、子 育て世代を中心に関 係機関と連携し啓発 を図る。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											全体							
											33.9%	32.0%	32.1%	33.8%	31.4%			
											30歳							
											38.7%	27.7%	32.3%	35.1%	27.8%			
											40歳							
											35.1%	34.5%	31.4%	32.7%	31.0%			
											50歳							
						28.3%	28.6%	31.0%	31.4%	32.2%								
						60歳												
						28.3%	35.2%	34.2%	36.3%	36.0%								
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室 (* )	歯・口腔の健康に関して、 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ、必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減							かしわ歯科相談室利用者数					8月、12月、3月に実施している矯正歯 科相談専門日に来所者が増加してお り、歯科医師の従事者数を増加して 対応した。 平成30年度についても歯科医師会と 連携を図り、同様に対応していく予定 。	保健所の専門的な相 談機能のひとつとし て、利用者のニーズ に応じた対応を歯科 医師会と情報交換及 び共有しながら進め ていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											91人	77人	78人	74人	119人			



7. 糖尿病

(1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防																										
①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少																										
②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																										
③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少																										
④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少																										
⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																										
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス												
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																
市民生活 部 保険年金 課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防								<p>特定健康診査受診率(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>42.3%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定	<p>●受診結果が、受診勧奨値等市が定めた基準に該当したものについては、重症化予防対策として、医療機関への受診勧奨を実施した。</p> <p>特にメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は男性の60歳代以上で増加していることから、通知や電話で特定保健指導の利用勧奨を実施した。特定保健指導の通知文や対象期間を検討することで、特定保健指導実施率の向上につながった。</p> <p>●重症化予防の取り組みとして、健診結果から早期にCKDのリスクの高い人を見つけ、かかりつけ医と腎専門医が連携して治療にあたることができるよう、研修会の実施や「柏市国保特定健診等保健事業検討会」等、柏市医師会や腎専門医等の協力により、慢性腎臓病(CKD)対策推進のため、医療連携システムの構築に取り組んできた。平成29年度から「柏市CKD医療連携システム」として、腎専門基幹病院と連携し、該当者がすみやかに腎専門医へ紹介することができるシステムの運用を開始した。</p> <p>●併せて、国が示す「保険者努力支援制度」に基づき、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に沿った「糖尿病性腎症重症化予防事業」を健康・医療情報を活用し該当者を抽出し、参加の承諾を得られた者に対してプログラムを事業者へ委託し実施した。</p> <p>●平成30年度も引き続き、「第2期データヘルス計画」に基づき健康寿命の延伸と医療費適正化に資するよう、生活習慣病予防対策を推進していく。そのために、特定健診の受診率向上と特定保健指導の実施率向上のための取組と併せて、重症化予防の取組の推進として、「柏市CKD医療連携システム」および、「糖尿病性腎症重症化予防事業」の取組を推進していく。</p>	<p>「第2期データヘルス計画」や、健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき、医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>		
					H25	H26	H27	H28	H29																	
					40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定																	
											<p>特定保健指導実施率(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>18.9%</th> <th>15.0%</th> <th>20.1%</th> <th>21.4%</th> <th>同上</th> </tr> </table>	18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上										
					18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上																	
											<p>メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>男性</th> <th>23.6%</th> <th>24.2%</th> <th>25.4%</th> <th>26.1%</th> <th>同上</th> </tr> <tr> <th>女性</th> <th>7.2%</th> <th>7.3%</th> <th>7.6%</th> <th>7.8%</th> <th>同上</th> </tr> </table>	男性	23.6%	24.2%	25.4%	26.1%	同上	女性	7.2%	7.3%	7.6%	7.8%				同上
					男性	23.6%	24.2%	25.4%	26.1%	同上																
					女性	7.2%	7.3%	7.6%	7.8%	同上																
											<p>メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>男性</th> <th>17.4%</th> <th>17.3%</th> <th>17.3%</th> <th>17.4%</th> <th>同上</th> </tr> <tr> <th>女性</th> <th>5.8%</th> <th>6.2%</th> <th>6.0%</th> <th>6.1%</th> <th>同上</th> </tr> </table>	男性	17.4%	17.3%	17.3%	17.4%	同上	女性	5.8%	6.2%	6.0%	6.1%				同上
					男性	17.4%	17.3%	17.3%	17.4%	同上																
女性	5.8%	6.2%	6.0%	6.1%	同上																					
						<p>ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%)以上の人の割合(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <th>7.8%</th> <th>7.7%</th> <th>7.7%</th> <th>7.9%</th> <th>7.9%</th> </tr> </table>	7.8%	7.7%	7.7%	7.9%	7.9%															
7.8%	7.7%	7.7%	7.9%	7.9%																						



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活 部 保険年金 課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から39 歳の健診)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づく保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から39歳 の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニン グ事業、運動事業に利用 できる。18歳から39歳の 健診事業は26年度から の新規事業。受診希望 者に対し受診券を発行し、 特定健診と同様の健診 を実施する。	柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予 防										平成29年度は前年度と同様、35歳を対象 に、郵送による受診勧奨を実施。 平成30年度は、健診受診の習慣化および 疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ 特定健診」として通知発送の対象者を35歳 から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予 定。	若い頃からの生活習 慣病対策として、「18 歳から39歳までの健康 診査」の周知に努 め、受診者数の増加 を図る。 また生活習慣病の予 防、早期発見・早期治 療、重症化の予防の ため、健診結果で生 活習慣病のリスクの ある対象者に対し、保 健指導及び医療機関 の受診勧奨を実施す る。			
					18歳から39歳の健診実施状況						H25	H26	H27				H28	H29
					受診券発行数						未実施	72人	83人				237人	218人
					受診者数						未実施	42人	53人				158人	138人
保健所 健康増進 課	柏市健康診 査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生 活保護受給者を対象に、 特定健診と同内容の健 診を指定医療機関にて 実施。 対象者に個別通知、希望 者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。									平成29年度より、へるすアップ通信の発行 と生活支援課ケースワーカーより健康診査 申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より 申込者、受診者ともに増加した。平成30 年度も生活支援課との連携強化を図り、申 込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増 加とともに、生活習慣 の改善が必要と判定 された者へフォローア ップ強化を図る。				
					H25	H26	H27	H28	H29	145人	210人	224人				239人	278人	
保健所 健康増進 課	柏市地域栄 養相談シス テム	生活習慣病等で治療中 の市民が、かかりつけ医 の紹介により、市内の病 院で管理栄養士の栄養 指導が受けられるシステ ム。かかりつけ医での治 療及び適切な食事療法 を継続し、生活習慣病の 重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協 議会(柏地区)	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。									平成28年度に診療報酬の改定があり、保険 適用となる栄養食事指導の幅が広がった。 相談の主訴は、糖尿病だけでなく、脂質異 常症、高血圧等、生活習慣病であった。29 年度は妊娠糖尿病の相談件数が増加して いるのが特徴的であった。 30年度は、食事指導が必要な方がこのシス テムにつながるよう、医療機関と市民に向 けて周知をしていく。	食事指導が必要な方 がこのシステムにつ ながるように、周知方 法、周知先等、検討し ていく。				
					H25	H26	H27	H28	H29	101人	109人	98人				225人	214人	

(2) 定期的な健康診査の受診																																																							
⑥ 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加																																																							
⑦ 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加																																																							
⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少																																																							
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																									
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																													
市民生活 部 保険年金 課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(*)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防								<p>特定健康診査受診率(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>42.3%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>20.1%</td> <td>21.4%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>24.2%</td> <td>25.4%</td> <td>26.1%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>7.2%</td> <td>7.3%</td> <td>7.6%</td> <td>7.8%</td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>17.4%</td> <td>17.3%</td> <td>17.4%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>5.8%</td> <td>6.2%</td> <td>6.0%</td> <td>6.1%</td> </tr> </table> <p>ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上)の人の割合(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>7.8%</td> <td>7.7%</td> <td>7.7%</td> <td>7.9%</td> <td>7.9%</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定	18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上	男性	24.2%	25.4%	26.1%	同上	女性	7.2%	7.3%	7.6%	7.8%	男性	17.4%	17.3%	17.4%	同上	女性	5.8%	6.2%	6.0%	6.1%	7.8%	7.7%	7.7%	7.9%	7.9%	<p>年代・性別を踏まえ、対象者の特性に応じた受診勧奨を実施し、受診率向上に取り組んだ。平成30年度も継続実施の予定。特定保健指導対象者への指導利用勧奨を積極的にを行い、実施率が向上した。平成30年度も継続実施の予定。</p>	<p>「第2期データヘルス計画」や、健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき、医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>	
					H25	H26	H27	H28	H29																																														
					40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定																																														
					18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上																																														
					男性	24.2%	25.4%	26.1%	同上																																														
					女性	7.2%	7.3%	7.6%	7.8%																																														
					男性	17.4%	17.3%	17.4%	同上																																														
					女性	5.8%	6.2%	6.0%	6.1%																																														
					7.8%	7.7%	7.7%	7.9%	7.9%																																														
市民生活 部 保険年金 課	国保 保健事業利用費助成事業(18歳から39歳の健診)(*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防								<p>18歳から39歳の健診実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>未実施</td> <td>72人</td> <td>83人</td> <td>237人</td> <td>218人</td> </tr> </table> <p>受診券発行数</p> <table border="1"> <tr> <td>未実施</td> <td>72人</td> <td>83人</td> <td>237人</td> <td>218人</td> </tr> </table> <p>受診者数</p> <table border="1"> <tr> <td>未実施</td> <td>42人</td> <td>53人</td> <td>158人</td> <td>138人</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	未実施	72人	83人	237人	218人	未実施	72人	83人	237人	218人	未実施	42人	53人	158人	138人	<p>平成29年度は前年度と同様、郵送による受診勧奨を実施。平成30年度は、健診受診の習慣化および疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ特定健診」として通知発送の対象者を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予定。</p>	<p>若い頃からの生活習慣病対策として、「18歳から39歳までの健康診査」の周知に努め、受診者数の増加を図る。また生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化の予防のため、健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施する。</p>																					
					H25	H26	H27	H28	H29																																														
					未実施	72人	83人	237人	218人																																														
					未実施	72人	83人	237人	218人																																														
					未実施	42人	53人	158人	138人																																														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	受診者数								
							H25	H26	H27	H28	H29								
保健所 健康増進課	柏市健康診査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。						○	○	145人	210人	224人	239人	278人	平成29年度より、へるすアップ通信の発行と生活支援課ケースワーカーより健康診査申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より申込者、受診者ともに増加した。平成30年度も生活支援課との連携強化を図り、申込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増加とともに、生活習慣の改善が必要と判定された者へフォローアップ強化を図る。	

8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防																																																																	
①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少																																																																	
②循環器疾患による死亡者数の減少																																																																	
③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																																																																	
④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)の減少																																																																	
⑤収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																																																																	
⑥拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																																																																	
⑦【再掲】メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																																																																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																							
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<p>・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所</p>	生活習慣病の発症及び重症化の予防	○ ○						<p>特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>42.3%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>20.1%</td> <td>21.4%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>27.4%</td> <td>27.4%</td> <td>28.3%</td> <td>26.7%</td> <td>26.2%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>36.2%</td> <td>37.2%</td> <td>37.2%</td> <td>35.3%</td> <td>34.2%</td> </tr> </table> <p>収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>26.8%</td> <td>27.1%</td> <td>27.0%</td> <td>27.7%</td> <td>26.6%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>21.7%</td> <td>21.7%</td> <td>22.6%</td> <td>22.8%</td> <td>21.4%</td> </tr> </table> <p>拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>15.4%</td> <td>15.8%</td> <td>15.6%</td> <td>15.8%</td> <td>16.1%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>8.8%</td> <td>8.5%</td> <td>9.4%</td> <td>9.2%</td> <td>9.2%</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定	18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上	男性	27.4%	27.4%	28.3%	26.7%	26.2%	女性	36.2%	37.2%	37.2%	35.3%	34.2%	男性	26.8%	27.1%	27.0%	27.7%	26.6%	女性	21.7%	21.7%	22.6%	22.8%	21.4%	男性	15.4%	15.8%	15.6%	15.8%	16.1%	女性	8.8%	8.5%	9.4%	9.2%	9.2%	<p>●受診結果が、受診勧奨値等市が定めた基準に該当したのものについては、重症化予防対策として、医療機関への受診勧奨を実施した。</p> <p>●特定保健指導の予約が無い方に対し、電話や個別通知等による特定保健指導の利用勧奨を実施。特定保健指導の通知文や対象期間を検討することで、特定保健指導実施率は向上した。</p> <p>●「第2期データヘルス計画」策定時に実施した健診・医療情報の分析から、医療費全体のうち生活習慣病関連の疾患が23.7%を占めており、一人当たりの医療費は低いが、患者数の多い「糖尿病」や「高血圧症」の重症化予防の取組を推進するため、平成30年度は、平成29年度の健診結果より、「HbA1c」と「血圧」が保健指導値以上の方に対し、糖尿病専門医による健康講座を実施する。</p>	<p>「第2期データヘルス計画」や、健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき、医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>	
					H25	H26	H27	H28	H29																																																								
					40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定																																																								
					18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上																																																								
					男性	27.4%	27.4%	28.3%	26.7%	26.2%																																																							
					女性	36.2%	37.2%	37.2%	35.3%	34.2%																																																							
					男性	26.8%	27.1%	27.0%	27.7%	26.6%																																																							
					女性	21.7%	21.7%	22.6%	22.8%	21.4%																																																							
					男性	15.4%	15.8%	15.6%	15.8%	16.1%																																																							
					女性	8.8%	8.5%	9.4%	9.2%	9.2%																																																							

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防							18歳から39歳の健診実施状況					平成29年度は前年度と同様、郵送による受診勧奨を実施。 平成30年度は、健診受診の習慣化および疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ特定健診」として通知発送の対象者を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予定。	若い頃からの生活習慣病対策として、「18歳から39歳までの健康診査」の周知に努め、受診者数の増加を図る。 また生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化の予防のため、健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											受診券発行数							
											未実施	72人	83人	237人	218人			
受診者数																		
H25	H26	H27	H28	H29														
未実施	42人	53人	158人	138人														
受診者数																		
保健所健康増進課	柏市健康診査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。							受診者数					平成29年度より、へるすアップ通信の発行と生活支援課ケースワーカーより健康診査申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より申込者、受診者ともに増加した。 平成30年度も生活支援課との連携強化を図り、申込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増加とともに、生活習慣の改善が必要と判定された者へフォローアップ強化を図る。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											145人	210人	224人	239人	278人			
											利用者数(延べ数)							
保健所健康増進課	柏市地域栄養相談システム (*)	生活習慣病等で治療中の市民が、かかりつけ医の紹介により、市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し、生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会(柏地区)	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。							利用者数(延べ数)					平成28年度に診療報酬の改定があり、保険適用となる栄養食事指導の幅が広がった。相談の主訴は、糖尿病だけでなく、脂質異常症、高血圧等、生活習慣病であった。29年度は妊娠糖尿病の相談件数が増加しているのが特徴的であった。 30年度は、食事指導が必要な方がこのシステムにつながるよう、医療機関と市民に向けて周知をしていく。	食事指導が必要な方がこのシステムにつながるように、周知方法、周知先等、検討していく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											101人	109人	98人	225人	214人			
											利用者数(延べ数)							

(2) 定期的な健康診査の受診																									
⑧【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加																									
⑨【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加																									
⑩循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少																									
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス												
					乳幼児期	学童期	思春期																		
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(*)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防							<p>特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>42.3%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	H29	40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定	<p>●受診結果が、受診勧奨値等市が定めた基準に該当したのものについては、重症化予防対策として、医療機関への受診勧奨を実施した。</p> <p>●特定保健指導の予約が無い方に対し、電話や個別通知等による特定保健指導の利用勧奨を実施。特定保健指導の通知文や対象期間を検討することで、特定保健指導実施率は向上した。</p> <p>●「第2期データヘルス計画」策定時に実施した健診・医療情報の分析から、医療費全体のうち生活習慣病関連の疾患が23.7%を占めており、一人当たりの医療費は低い、患者数の多い「糖尿病」や「高血圧症」の重症化予防の取組を推進するため、平成30年度は、平成29年度の健診結果より、「HbA1c」と「血圧」が保健指導値以上の方に対し、糖尿病専門医による健康講座を実施する。</p>	「第2期データヘルス計画」や、健診結果・レセプト情報等の健康・医療情報等に基づき、医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。		
					H25	H26	H27	H28	H29																
					40.0%	40.8%	42.0%	42.3%	11月1日以降確定																
										<p>特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>20.1%</td> <td>21.4%</td> <td>同上</td> </tr> </table>	18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上										
					18.9%	15.0%	20.1%	21.4%	同上																
										<p>LDLコレステロールが<math>\geq 140\text{mg/dl}</math>以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>27.4%</td> <td>28.3%</td> <td>26.7%</td> <td>26.2%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>36.2%</td> <td>37.2%</td> <td>37.2%</td> <td>35.3%</td> <td>34.2%</td> </tr> </table>	男性	27.4%	28.3%	26.7%	26.2%	女性	36.2%	37.2%	37.2%	35.3%	34.2%				
					男性	27.4%	28.3%	26.7%	26.2%																
					女性	36.2%	37.2%	37.2%	35.3%	34.2%															
										<p>収縮期血圧が<math>\geq 140\text{mmHg}</math>以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>26.8%</td> <td>27.1%</td> <td>27.0%</td> <td>27.7%</td> <td>26.6%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>21.7%</td> <td>21.7%</td> <td>22.6%</td> <td>22.8%</td> <td>21.4%</td> </tr> </table>	男性	26.8%	27.1%	27.0%	27.7%	26.6%	女性	21.7%	21.7%	22.6%	22.8%				21.4%
					男性	26.8%	27.1%	27.0%	27.7%	26.6%															
					女性	21.7%	21.7%	22.6%	22.8%	21.4%															
										<p>拡張期血圧が<math>\geq 90\text{mmHg}</math>以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>15.4%</td> <td>15.8%</td> <td>15.6%</td> <td>15.8%</td> <td>16.1%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>8.8%</td> <td>8.5%</td> <td>9.4%</td> <td>9.2%</td> <td>9.2%</td> </tr> </table>	男性	15.4%	15.8%	15.6%	15.8%	16.1%	女性	8.8%	8.5%	9.4%	9.2%				9.2%
男性	15.4%	15.8%	15.6%	15.8%	16.1%																				
女性	8.8%	8.5%	9.4%	9.2%	9.2%																				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防										平成29年度は前年度と同様、郵送による受診勧奨を実施。 平成30年度は、健診受診の習慣化および疾病の早期発見・早期治療を目的に、「プレ特定健診」として通知発送の対象者を35歳から39歳までに拡大し、受診勧奨を実施予定。	若い頃からの生活習慣病対策として、「18歳から39歳までの健康診査」の周知に努め、受診者数の増加を図る。 また生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化の予防のため、健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施する。			
					18歳から39歳の健診実施状況						H25	H26	H27				H28	H29
					受診券発行数						未実施	72人	83人				237人	218人
					受診者数						未実施	42人	53人				158人	138人
保健所 健康増進課	柏市健康診査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。										平成29年度より、へるすアップ通信の発行と生活支援課ケースワーカーより健康診査申込、受診勧奨の声掛けを実施、前年度より申込者、受診者ともに増加した。 平成30年度も生活支援課との連携強化を図り、申込者、受診者の増加を目指す。	申込者、受診者の増加とともに、生活習慣の改善が必要と判定された者へフォローアップ強化を図る。			
					受診者数						H25	H26	H27				H28	H29
											145人	210人	224人				239人	278人

9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及																		
①がんによる死亡者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価 アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 総務企 画課	がん対策	・がん対策検討会議(議 員および庁内関係部署、 がん診療連携拠点病院) の開催 ・議会への事業報告 ・保健衛生審議会への報 告	庁内関係部局 がん診療連携 拠点病院 医師会など	「柏市がん対策 基本条例」に基 づき関係機関と の連携のもと、 がん対策を効果 的かつ効率的に 推進	○	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況					・がん対策検討会議は、全体会とテ ーマを絞った関係部署でのコア会議 を含め4回実施し、情報共有と検討 を行った。がん対策全体の中で『就 労支援』が課題となっていることを取 上げ、検討する経過の中で企業へ の周知及びアンケート調査を実施し た。平成30年度も、引き続きテーマ を絞って勉強会や検討会を実施して いく。 ・がんサポートハンドブックは状況に 応じて毎年度改定を行い、充実した 情報の提供を図っている。	第3期がん対策推進 基本計画を踏まえ、 柏市全体としての取り 組みを関係機関で共 有し検討していく。 全体会とコア会議を 組合せ、課題への取 り組みを進めていく。 コアテーマにがん教 育等を取上げるか は、今後の状況により 検討する。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											4回	4回	3回	4回	4回			
保健所 保健予 防課  保健所 健康増 進課	肝炎ウイル ス検査	柏市民で、これまで肝炎 ウイルス検査を受けたこと がなく、他で検査を受ける 機会のないかた、感染を 心配するリスク行為があ ったかたを対象に検査を 実施。	柏市医師会	肝炎ウイルス感 染を早期に発見 し、適切な検査・ 治療へつなぐこ とで、肝硬変や 肝がんへの進 行による重症化 を防ぐ							肝炎ウイルス検査実施数					平成28年度に開始したフォローア ップ事業は、平成29年度に利用率が 倍増しとなっている。陽性者を確実 に医療につなげるための事業であ り、今後も拡充が必要。制度や手続 きを分かりやすく説明し、専門医療 機関を紹介し、受診への道すじを明 確にしていく。	5歳刻みの個別通知 は、平成30年度で一 巡し、その後の周知 方法について検討の 必要がある。特定健 診受診券に肝炎ウイ ルス検査についても 記載し、未検査の者 に勧奨を行う。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											1,182人	7,685人	7,333人	6,725人	7,185人			
保健所 健康増 進課	新たなステ ージに入った がん検診の 総合支援事 業	特定の年齢のかたに無料 クーポン、検診手帳(啓発 用)を送付し、該当するが ん検診について、無料で 受診することができる。 対象となるがん検診は、 乳、子宮頸がん検診(大 腸はH27年度まで実施)。  精密検査未受診者に対す る受診勧奨通知及び特定 の年齢に達する対象者へ の受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	がん検診を受け るきっかけとし て、今まで受診 したことがない 人が受診するこ とで、受診率向 上に寄与する。							クーポン利用率					20歳の子宮頸がん、40歳の乳がん は、病気を自分の問題としてとらえ にくい年齢ではあるが、無料クー ポン券によるお試し体験で、検診のマ イナスイメージを払拭してもらった意 義は大きい。 精検未受診者への受診再勧奨にお いては、「未受診者」と「未把握者」 の定義を明確にして、現状を正確に 把握するよう努めている。	芸能人などが発症す ると、受診者数は増 加する。乳がん検診 については、それが 顕著に表れている。 子宮頸がん検診のク ーポン利用率の低迷 については検証が必 要だが、今後も地道 に受診を勧めていく。	
											H25	H26	H27	H28	H29			
											大腸がん							
											14.1%	9.6%	7.6%	廃止	—			
											乳がん							
											25.3%	9.5%	16.0%	12.0%	24.5%			
子宮頸がん																		
18.1%	8.1%	11.3%	4.6%	2.9%														



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価 アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	新規登録者数(延人数)								
												H25	H26	H27	H28	H29			
保健所 健康増 進課	成人健診事 業(健康づく り普及・啓 発)	がん検診登録勸奨、がん 予防の啓発を目的に、各 種媒体を利用、特定の年 齢・転入者等には個別通 知。 モデル地域を設定し、健 康講座の実施など重点的 に普及啓発活動を行って いる。	ふるさと協議 会 柏市医師会 庁内関係部署 専門医療機関	新規登録者数 の増加			△	○	○	○		29,077人	26,129人	27,493人	26,100人	28,873人	平成29年度は、がん予防をテーマに した市民公開講座を開催した。平成 30年度も地域イベント等に参加し、 がん検診登録制度を説明するととも に、胃内視鏡検査や大腸がん個別 検診の新規導入などの紹介を行う。	受診者が、検診の目 的や方法、保険診療 との違いを理解し、自 分にあった検査を選 択するなど、正しく検 診が受けられるよう啓 発を行っていく。	

(2)がん検診の受診																												
②胃がん検診受診率の増加																												
③大腸がん検診受診率の増加																												
④子宮がん検診受診率の増加																												
⑤乳がん検診受診率の増加																												
⑥結核・肺がん検診受診率の増加																												
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価 アドバイス														
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																		
保健所 地域保 健課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、 タバコ等健康に関する啓 発を実施。一般市民を対 象とし、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康つ くり推進員  各種団体及び 企業関係	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションアプ ローチをす ること で、健康に 関する 気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					地域サロンを中心とした依頼の健康 教育が主となるが、日ごろの地域活 動を生かし、多くの依頼があるよう 周知・啓発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタ バコなど健康に関する内容を付加し 実施していく。	引き続き、健康教育 や啓発等を実施し、 地域における健康づ くりを推進する。											
											H25	H26	H27	H28	H29				-	-	-	2,298人	2,169人					
					※喫煙と重複																							
保健所 健康増 進課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、 タバコ等健康に関する啓 発を実施。一般市民を対 象とし、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び 企業関係	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションアプ ローチをす ること で、健康に 関する 気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					乳幼児の保護者向け及び成人式を 迎える人を対象にタバコや受動喫煙 に関するリーフレットを作成し、各イ ベントで啓発を実施。また、受動喫 煙防止街頭キャンペーンも実施。 30年度も引き続きリーフレットや街頭 キャンペーンによる啓発を行い、が ん発症のリスク低減を目指す。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。											
															H25				H26	H27	H28	H29	-	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	
					※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動 を含む						啓発実施者数(がん)								-					924人	50人	900人	1,450人	
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動 を含む																												
保健所 健康増 進課	がん検診	「がん検診重点健康教育 及びがん検診の実施のた めの指針」(厚生労働省) に基づき、胃、大腸、結核 ・肺、乳、子宮の各がん検 診の実施。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	各がんの早期 発見、早期治療 に結びつける。					△	○	がん検診受診率/ 受診者数					がん検診受診率の分母となる数値 は5年毎に計算され、同じ数値を5年 間使用する。切り替え年度である平 成29年度は、以前より微増の分母に より算出されるため、全体の受診率 が低めに現れている。 がん検診を職域で実施する事業所 が増えていることや、高齢によって、 検診よりも保険診療で検査を受ける 市民は、これからも増えると予測さ れる。	平成30年度から、胃 がん検診に内視鏡検 査を、大腸がん検診 に集団検診を、乳が ん検診に2方向マンモ グラフィーを、それぞ れ新規導入した。 胃がん検診と乳が ん検診の受診間隔 は、毎年2年毎に 変更となった。 国は、いずれ胃がん 検診の対象を50歳以 上に引き上げる方針 を出している。											
															H25				H26	H27	H28	H29	11.1%	10.3%	9.8%	9.3%	8.2%	
					胃がん検診						11,955人								11,152人	10,612人	10,043人	9,623人						
					大腸がん検診						19,063人								18.6%	18.6%	19.9%	18.1%	16.5%					
					子宮頸がん検診						20,993人								20.5%	29.5%	26.3%	28.4%	26.6%					
					乳がん検診						19,063人								28.3%	29.1%	29.4%	30.7%	30.0%					
					結核・肺がん検診						17,239人								16.0%	15.1%	15.8%	16.0%	14.7%					
					※H25年度より受診間隔を2年に1回に変更						20,993人								20.5%	29.5%	26.3%	28.4%	26.6%					
					※H25年度より受診間隔を2年に1回に変更						19,063人								19.4%	18.6%	19.9%	18.1%	16.5%					
					※H25年度より受診間隔を2年に1回に変更						20,993人								20.5%	29.5%	26.3%	28.4%	26.6%					
					※H25年度より受診間隔を2年に1回に変更						19,063人								19.4%	18.6%	19.9%	18.1%	16.5%					
					※H25年度より受診間隔を2年に1回に変更						20,993人								20.5%	29.5%	26.3%	28.4%	26.6%					
					※H25年度より受診間隔を2年に1回に変更						19,063人								19.4%	18.6%	19.9%	18.1%	16.5%					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成29年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び平成30年度の取り組みについて	平成31年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健所 健康増 進課	新たなステ ージに入った がん検診の 総合支援事 業 (* )	特定の年齢のかたに無料 クーポン、検診手帳(啓発 用)を送付し、該当するが ん検診について、無料で 受診することができる。 対象となるがん検診は、 乳、子宮頸がん検診(大 腸はH27年度まで実施)。  精密検査未受診者に対す る受診勧奨通知及び特定 の年齢に達する対象者へ の受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	がん検診を受け るきっかけとし て、今まで受診 したことがない 人が受診するこ とで、受診率向 上に寄与する。					○	○		クーポン利用率 H25 H26 H27 H28 H29 大腸がん 14.1% 9.6% 7.6% 廃止 — 乳がん 25.3% 9.5% 16.0% 12.0% 24.5% 子宮頸がん 18.1% 8.1% 11.3% 4.6% 2.9%	20歳の子宮頸がん、40歳の乳がん は、病気を自分の問題としてとらえ にくい年齢ではあるが、無料クー ポン券によるお試し体験で、検診の マイナスイメージを払拭してもら う意義は大きい。 精検未受診者への受診再勧奨に おいては、「未受診者」と「未把握 者」の定義を明確にして、現状を正 確に把握するよう努めている。	芸能人などが発症す ると、受診者数は増 加する。乳がん検診 については、それが 顕著に表れている。 子宮頸がん検診のク ーポン利用率の低迷 については検証が必 要だが、今後も地道 に受診を勧めていく。	